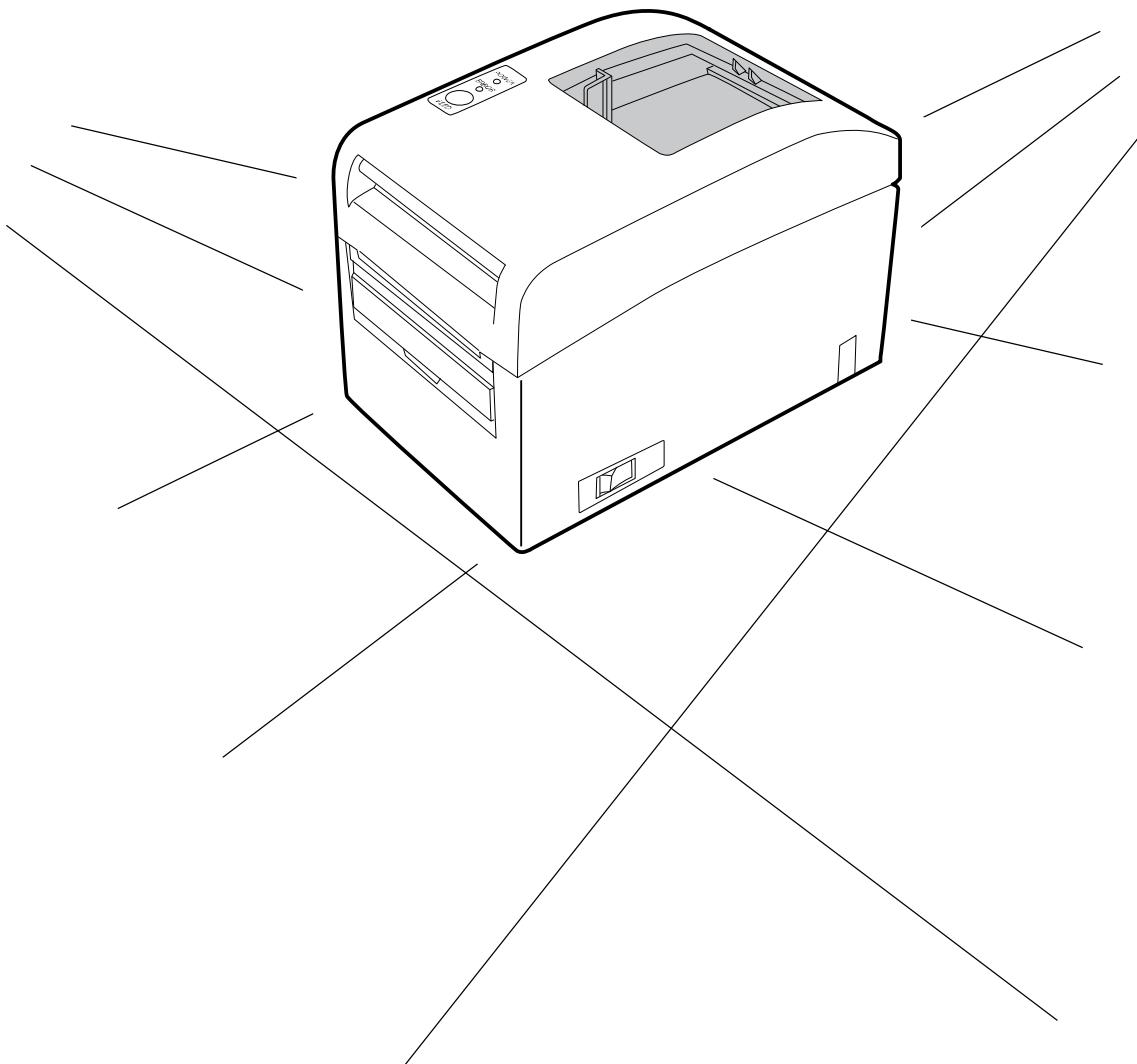


MultiCoder 300S2DX シリーズ

ラベルプリンター ユーザーズマニュアル



このユーザーズマニュアルは、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。

安全にかかわる表示

本プリンターを安全にお使いいただくために、このユーザーズマニュアルの指示に従って操作してください。

このユーザーズマニュアルにはプリンターのどこが危険か、指示を守らないとどのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。

また、プリンター内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。

ユーザーズマニュアルならびに警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

 警告	指示を守らないと、 <u>人が死亡する、または重傷を負う</u> おそれがあることを示します。
 注意	指示を守らないと、 <u>火傷やけがのおそれ、および物的損害</u> の発生のおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示の具体的な内容は「注意の喚起」、「行為の禁止」、「行為の強制」の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

注意の喚起

注意の喚起は、「△」の記号を使って表示されています。この記号は指示を守らないと、危険が発生するおそれがあることを示します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。

	<u>発煙または発火</u> のおそれがあることを示します。		<u>けがをする</u> おそれがあることを示します。
	<u>感電</u> のおそれがあることを示します。		<u>指などがはさまれる</u> おそれがあることを示します。
	<u>火傷</u> を負うおそれがあることを示します。		<u>特定しない一般的な注意・警告</u> を示します。
	<u>けが</u> を負うおそれがあることを示します。		

行為の禁止

行為の禁止は「○」の記号を使って表示されています。この記号は行為の禁止を表します。記号の中の絵表示はしてはならない行為の内容を図案化したものです。

	プリンターを分解・修理・改造しないでください。 <u>感電や火災</u> のおそれがあります。		破損した電源コードは使わないでください。 <u>感電や火災</u> のおそれがあります。
	指定された場所には触らないでください。 <u>感電や火傷などの傷害</u> が起こるおそれがあります。		電源プラグを中途半端に差し込まないでください。 <u>火災</u> のおそれがあります。
	金属類を差し込まないでください。 <u>感電</u> のおそれがあります。		不安定な場所を避けてください。 <u>けが</u> をするおそれがあります。
	ぬれた手で触らないでください。 <u>感電</u> のおそれがあります。		電源コードをねじらないでください。 <u>感電や火災</u> のおそれがあります。
	水や液体がかかる場所で使用しないでください。 <u>感電や発火</u> のおそれがあります。		薬品類をかけないでください。電源コードや本体電気部品の劣化による <u>感電や火災</u> のおそれがあります。
	製品の近くで火器類を扱わないでください。 <u>火災</u> の原因となるおそれがあります。		手や髪の毛を近づけないでください。装置内部に巻き込まれて <u>けが</u> をするおそれがあります。
	直射日光を避けてください。 <u>発火</u> のおそれがあります。		特定しない一般的な行為の禁止を示します。

行為の強制

行為の強制は「●」の記号を使って表示されています。この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示はしなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。

	プリンターの電源プラグをコンセントから抜いてください。 <u>感電や火災</u> のおそれがあります。		電源コードは AC100V のコンセントに差し込んでください。 <u>火災や漏電</u> のおそれがあります。
	電源コードはプラグを持って抜いてください。コード部分を引っ張るとコードが破損して <u>感電や火災</u> のおそれがあります。		アース線を接続してください。万一漏電した場合に <u>感電や火災</u> のおそれがあります。
	電源コードは添付のものを使ってください。専用品を使わないと <u>感電や火災</u> のおそれがあります。		特定しない一般的な行為の強制を示します。

本文中で使用する記号の意味

このユーザーズマニュアルでは、「安全にかかわる表示」のほかに、本文中で次の 2 種類の記号を使っています。それぞれの記号について説明します。

記号	内 容	記号	内 容
 重要	この注意事項および指示を守らないと、プリンターが故障するおそれがあります。また、システムの運用に影響を与えることがあります。		この注意事項および指示を守らないと、プリンターが正しく動作しないことがあります。

商標について

NEC、NEC ロゴは日本電気株式会社の登録商標です。

MultiCoder は NEC エンベデッドプロダクツ株式会社の登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Server は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

IBM、AT は米国 International Business Machines Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

その他、記載されている会社名および商品名は各社の登録商標または商標です。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
4. 運用した結果の影響については 3 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5. 本製品を第三者に売却・譲渡する際は必ず本書も添えてください。

© NEC Corporation, NEC Embedded Products, Ltd. 2010-2017

日本電気株式会社、NEC エンベデッドプロダクツ株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

はじめに

このたびは NEC のラベルプリンターをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

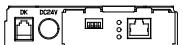
本マニュアルは、NEC ラベルプリンター「MultiCoder 300S2DX シリーズ」（以降、「本プリンター」と呼びます）を正しくお使いいただくための手引きです。本マニュアルにはプリンターの設置、操作、保守に必要な情報を記載していますので、日常使用する上でわからないことや具合の悪いことが起きたときにぜひご利用ください。

また、本プリンターにはユーザーズマニュアルのほかに同梱の CD-ROM に収録されたソフトウェアマニュアルがあります。併せてご活用ください。

本書で説明する製品について

このユーザーズマニュアルは次の製品について説明しています。

ハードウェアインターフェースは USB、RS-232C、LAN、パラレルがそれぞれあります。

ハードウェア インター フェース	特 長	背 面	ハードウェア インター フェース	特 長	背 面
LAN モデル	IEEE802.3 準拠 Ethernet インターフェース (10Base-T/100Base-TX)		USB+ RS-232C モデル	RS-232C 準拠および USB1.1/2.0 Full-Speed 準拠 USB インターフェ ース（通信速度： 12Mbps、コネクター： USB B タイプ）。	
パラレルインタ ーフェース モデル	IEEE1284 規格準拠双方向 パラレルインターフェー ス（ニブルモード）				

マニュアルの構成

このユーザーズマニュアルは、初めて本プリンターをお使いになる方が始めから順序よくお読みになれば、本プリンターを正しく使用できるように書かれています。また日常お使いになる上でわからないことが起こったり、故障かなと思ったりしたときは隨時このマニュアルを活用してください。

また、本書で記載されていない内容についてはソフトウェア CD-ROM に収められているソフトウェアマニュアルをご覧ください。

本書では USB+RS-232C モデルを中心に説明しています。

モデルによって異なる場合は、それぞれのモデルごとの説明をしています。

第 1 章 初めてお使いになるとき

本プリンターの取り扱い上の注意など、お使いになる前に知っておきたい情報や、本体を箱から出して印刷の準備が整うまでの手順を説明しています。また本プリンターに添付の「ソフトウェア CD-ROM」に収録されているソフトウェアや別売品の紹介もあります。

第 2 章 用紙の取扱いと印刷

各種用紙のサイズや印刷可能範囲を説明しています。

第 3 章 操作部とプリンターの設定

操作部のスイッチやランプの機能、本プリンターが持っているさまざまな機能を説明しています。

第 4 章 日常の保守

本体の清掃手順を説明しています。

第 5 章 故障かな？と思ったときは

プリンターが思うように動作しなかったり、印刷の状態がよくなかったりしたときは、故障を疑う前にまずこの章をお読みください。保証や修理の依頼、本体を運搬するときの準備についても記載しています。



LAN（プリントサーバー）のマニュアルは、プリントサーバーソフトウェア CD-ROM に収められているプリントサーバーソフトウェアマニュアルをご覧ください。

関連文書について

本プリンターの説明書として、ユーザーズマニュアルの他に以下のマニュアルがあります。

PDF マニュアル

ソフトウェア CD-ROM に収められている「PDF マニュアル」では以下について説明しています。
必要に応じてご覧ください。

ソフトウェアマニュアル

ドライバーのインストール方法、リモートパネルの機能や使い方、ステータスモニターについて説明しています。

プリントサーバーソフトウェア CD-ROM に収められている「PDF マニュアル」では以下について説明しています。必要に応じてご覧ください。

プリントサーバーソフトウェアマニュアル

プリントサーバーソフトウェアのインストールと設定方法などを説明しています。

* PDF マニュアルは Adobe Reader または Acrobat Reader (Ver. 5 以降) で閲覧できる PDF ファイルです。

本プリンターの特長

高速印刷

モノクロ単色印刷で最大 260mm/s の高速印刷が可能。
(標準改行量 3.75mm 時 : 69 行/秒)

簡単用紙セット

ロール紙セットが簡単なドロップイン方式で、しかも用紙の操作性が優れている前方排出機構を採用。

多彩なロール紙幅に対応、ロール紙の最大径は 102mm

83mm、80mm、70~25.4mm に対応。

- ・ 83mm はペーパーガイド A およびペーパーガイド B (1mm 単位可変パーテーション) を外す。
- ・ 80mm はペーパーガイド A による対応。ペーパーガイド B を外す。
- ・ 70~25.4mm はペーパーガイド B による対応。

用紙詰まり時の操作性向上

パスルートのオープン機構により、詰まった用紙の除去などの操作性が優れている。

厚紙対応

厚紙媒体の使用が可能。
(紙厚 : 最大 150 μm)

上端余白

プリンタードライバー設定により 12mm と 1.5mm の設定が可能。

コマンド対応

標準的な ESC/POS™ コマンドに対応。

自由な書式設定

ページモードにより自由な書式が可能。

バーコード、二次元コード

各種バーコードの他に、2 次元コード (QR コード／PDF417／DATAMATRIX／MaxiCode) の印刷が可能。

ユーティリティソフトを用いて、プリンターの設定をシステム側からも可能

目 次

安全にかかわる表示	ii
はじめに	v
本書で説明する製品について	v
マニュアルの構成	vi
関連文書について	vii
PDF マニュアル	vii
本プリンターの特長	viii

製品を安全にご使用して いただくために 1

警告ラベルについて	1
安全上のご注意	2
プリンター（内蔵部品・オプション品を含む） について	2

1章 初めてお使いになるとき ... 6

1 設置場所を用意する	7
本体の設置について	7
正しく使用するために	8
2 箱の中身を確認する	9
同梱品	9
別売品	10
オプション	10
消耗品	10
用紙仕様	11
3 各部の名前と機能を覚える	12
外 観	12
前 面	12
背 面	13
印刷機構部	15
4 電源コード・AC アダプターを接続する	17
AC アダプターの接続	18
AC アダプターを取り外す場合	20
5 電源を ON にする (OFF にする)	21
6 用紙をセットする	22
ペーパーガイドの取り付け・取り外し	23
ペーパーガイドの使用方法	23
ペーパーガイドの取り外し	23
ペーパーガイドの取り付け	24
ロール紙のセット	26
ファンフォールド紙のセット	29
用紙ガイドのセット	31
スタッカーのセット	32
7 テスト印刷をする	33

8 コンピューターに接続する	35
インターフェースケーブルの接続	35
RS-232C ケーブルで接続する	35
USB ケーブルで接続する	36
LAN ケーブルで接続する	37
パラレルケーブルで接続する	38
9 ソフトウェアをインストールする	39
10 ネットワークの設定をする	39

2章 用紙の取扱いと印刷 40

使用できる用紙	41
印刷可能範囲／用紙サイズ	42
タグ紙	42
黒マーク紙（タグ紙）	43
ラベル紙	44
用紙に関する注意	45
全面ラベル紙	45
ラベル粘着力に関する注意	46
紙管に関する注意	46
用紙の交換について	47
用紙レイアウトエラーについて	48

3章 操作部と プリンターの設定 49

スイッチ	50
ランプ	50
メニュー モード	51
メニュー モードの操作方法	51
設定例① 印刷濃度、電源投入後の頭出し、 ペーパーニアエンド検出の設定を変 更する。	52
設定例② プリンターの設定を 初期化する。	57
メニュー ツリー	59
メニュー モードの機能	61

4章 日常の保守 64

清掃	65
用紙収納部、用紙走行部を清掃する	65
プラテンローラーを清掃する	66
サーマルヘッドを清掃する	67
カッターを清掃する	68
カッター（下）の清掃手順	68

カッター（上）の清掃手順	70
--------------	----

5章 故障かな？と思ったときは 71

エラー表示が出ているときは	72
エラー表示が出ていないのに	
おかしいときは	74
電源投入時およびエラー関連	74
カッター関連	74
用紙搬送関連	74
印刷関連	75
用紙がつまつたときは	76
紙詰まりの除去方法	76
保証および修理の依頼について	77
保証について	77
修理に出される前に	78
プリンターの寿命について	78
補修用部品について	78
有償交換部品について	79
マニュアルの再入手方法について	79
情報サービスについて	79
プリンターを運搬するときは	80
プリンターの廃棄について	80

付録 技術情報 81

仕様	82
カッター使用時の注意	84
ロール紙供給仕様	85
インターフェース（コネクターピン配置）	86
USB インターフェース	86
LAN インターフェース	86
パラレルインターフェース	87
RS-232C インターフェース	88
コネクターピン接続図	89

索引	90
----	----

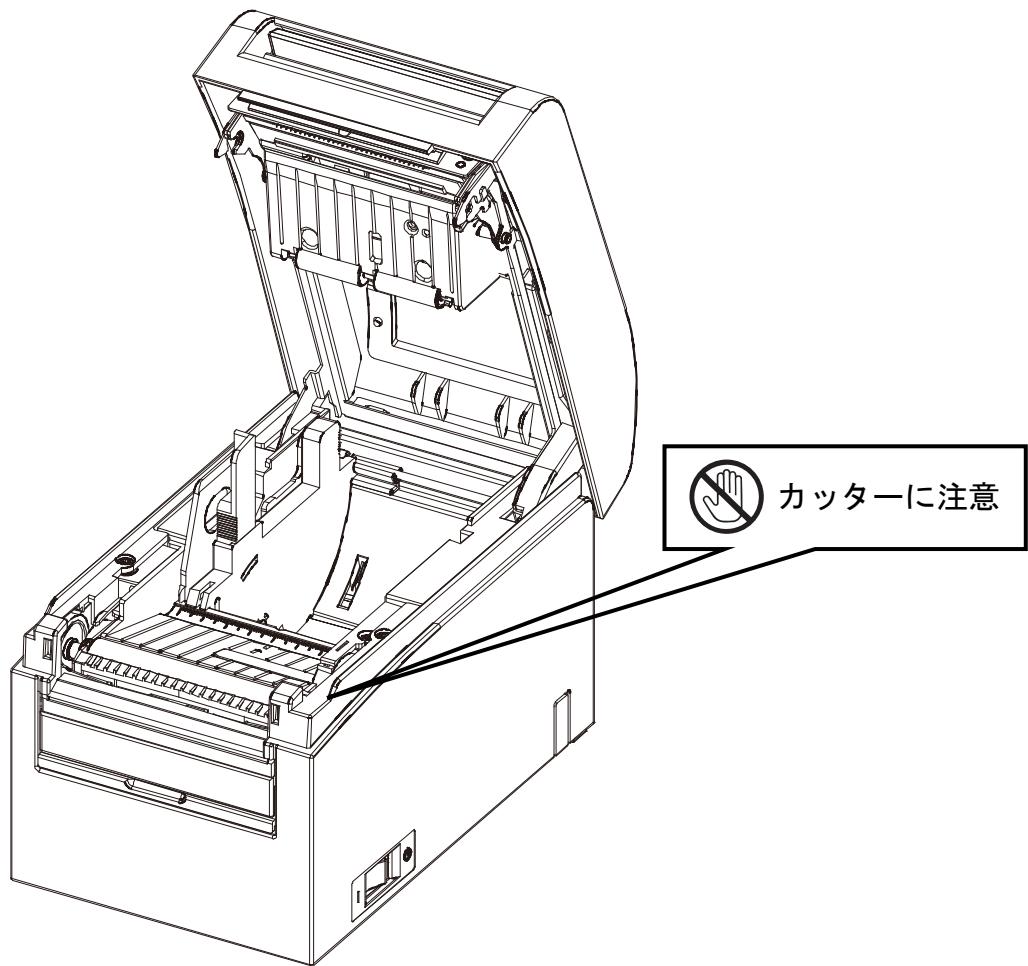


製品を安全にご使用していただくために

警告ラベルについて

本プリンター内の危険性を秘める部品やその周辺には警告ラベルが貼り付けられています。これは本プリンターを操作する際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです。

警告ラベルは下図に示す場所に貼られています。もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどして読めない場合は、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にご連絡ください。



安全上のご注意

ここで示す注意事項はプリンターを安全にお使いになる上で特に重要なものです。この注意事項の内容をよく読んで、ご理解いただき、プリンターをより安全にご活用ください。記号の説明については、ii ページの「安全にかかる表示」を参照してください。

プリンター(内蔵部品・オプション品を含む)について

!**警告**



煙や異臭、異音がしたら電源を OFF にする

万一、煙・異臭・異音などが生じた場合は、ただちに電源を OFF にして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると感電や火災の原因となるおそれがあります。



分解・修理・改造はしない

ユーザーズマニュアルに記載されている場合を除き、分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。本プリンターが正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の原因となるおそれがあります。



針金や金属片を差し込まない

本プリンターのすきまから金属片や針金などの異物を落としたり、差し込んだりしないでください。感電や故障のおそれがあります。



ぬれた手で触らない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。また、通電中にぬれた手で本プリンター側面のインターフェース部や本プリンター内部に触らないでください。ぬれた手で触ると感電するおそれがあります。



火の中に投げ入れない

本プリンターおよび本プリンター内蔵部品を火の中に投げ入れないでください。プラスチック部分が溶け出して、有害な成分が発生することがあります。

!**注意**



100V 以外のコンセントに差し込まない

電源は 100V の電圧、電流の壁付きコンセントをお使いください。100V 以外の電源を使うと火災や漏電になるおそれがあります。



必ずアース（接地）する

万一漏電した場合、火災・感電のおそれがあります。ただし、ガス管、水道管、蛇口、避雷針などにはアース（接地）を行わないでください。



AC アダプター、電源コードは本体付属品を使用する

付属品以外を使用すると、火災のおそれがあります。



電源コードは曲げたりねじったりしない

電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、束ねたり、ものを載せたり、はさみ込んだりしないでください。またステープルなどで固定することも避けてください。コードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。



電源プラグを中途半端に差し込まない

電源プラグはしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込んだまま、ほこりがたまるごと接触不良の発熱による火災の原因となるおそれがあります。また、プラグ部分は時々抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよく拭き取ってください。ほこりがたまつたままで、水滴などが付くと発熱し、火災となるおそれがあります。



延長コードは使用しない

添付の電源コードだけでコンセントに届かない場所に設置しないでください。延長コードの容量超過により発熱するおそれがあります。



損傷した電源コードは使わない

電源コードが破損した場合は、ビニールテープなどで補修して使用しないでください。補修した部分が過熱し、火災や感電の原因となるおそれがあります。損傷したときは、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にご相談ください。



電源コードに薬品類をかけない

電源コードに殺虫剤などの薬品類をかけないでください。コードの被覆が劣化し、感電や火災の原因となるおそれがあります。



電源コードを抜くときはコードを引っ張らない

電源コードを抜くときはプラグ部分を持って行ってください。コード部分を引っ張るとコードが破損し火災や感電の原因となるおそれがあります。



添付の AC アダプター・電源コードを転用しない

添付の AC アダプター、電源コードは本装置に接続し、使用することを目的として設計され、その安全性が確認されているものです。決して他の装置や用途に使用しないでください。火災や感電の原因となるおそれがあります。また、電源は指定された電圧、電流のコンセントをお使いください。



長期間使用しないときは電源プラグを抜く

連休などで長期間ご使用にならない場合は、安全のためプリンタ一本体および AC アダプターの電源プラグを抜いてください。火災の原因となることがあります。

⚠ 注意



ほこり・湿気の多い場所で使用しない

本プリンターをほこりの多い場所、給湯器のそばなど湿気の多い場所には置かないでください。火災になるおそれがあります。



直射日光が当たる場所、温度変化の激しい場所には置かない

本プリンターを窓ぎわなどの直射日光が当たる場所には置かないでください。また温度変化の激しい場所（暖房機、エアコン、冷蔵庫などの近く）、湿気の多い場所には設置しないでください。温度変化により内部の温度が上がったり、結露現象が起こったりして、故障の原因となるばかりでなく、異常動作したり、火災を引き起こしたりすることがあります。



不安定な場所に置かない

本プリンターを縦型OAラックの上段など不安定な場所には置かないでください。けがや周囲の破損の原因となるおそれがあります。



調理台や加湿器、熱器具のそばなど、油煙や湯気、熱が当たる場所に置かない

絶縁が悪くなったり、カバーや電源コードの被膜が溶け、火災・感電の原因となるおそれがあります。



本プリンターの上に重い物を置かない

置いた物がバランスを崩して倒れたり、落ちたりして、けがの原因となるおそれがあります。



腐食性ガスの存在する環境、ほこりや空気中に腐食を促進する成分、導電性の金属などが含まれている環境で使用、保管しない

腐食性ガス（二酸化硫黄、硫酸化水素、二酸化窒素、塩素アンモニア、オゾンなど）の存在する環境、腐食を促進する成分（塩化ナトリウムや硫黄など）が含まれている環境に設置し使用しないでください。

装置内部のプリント板が腐食し、故障および発煙、発火の原因となるおそれがあります。

もし、ご使用の環境で上記の疑いがある場合は、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にご相談ください。



配線部には触らない

動作中でなくとも、電源がONになっているときに配線部に触ると、感電するおそれがあります。



高温部品に触らない

本プリンターの内部には、使用中に高温になるサーマルヘッドという部品があります。カバーを開けて作業する場合は、10分ほど待って十分に冷めてから行ってください。本プリンターの動作直後に触ると火傷するおそれがあります。



指を挟まない

カバーの開閉時に指を挟まないように気を付けてください。けがをするおそれがあります。



本プリンター内に異物を入れない

本プリンター内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。

もし入ってしまったときは、すぐ電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に連絡してください。

⚠ 注意



突起物に手などをぶつけない

本体内部の突起物などに手などをぶつけないように注意してください。けがの原因となるおそれがあります。



本プリンターを落としたり、強い衝撃を与えたたりしない

カバーなどが破損し、火災・感電のおそれがあります。万一、本体を落としたり、カバーなどを破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に連絡してください。



巻き込み注意

本プリンターの動作中、用紙を交換するときは本プリンターのギヤなどに髪の毛やスカーフ、ネクタイを近づけないでください。髪の毛を巻き込まれたり、指をはまれたりしてけがをするおそれがあります。



雷が鳴りだしたら本プリンターに触らない

火災・感電の原因となります。雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また雷が鳴りだしたらケーブル類も含めて本プリンターには触らないでください。



お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く

感電の原因となるおそれがあります。



シンナーやベンジンなどの薬品類で本プリンターを拭かない

火災の原因となるおそれがあります。



移動するときは、電源コードを抜く

接続したまま移動するとコードが傷つき、火災・感電の原因となるおそれがあります。



本プリンターを子供に使わせたり、幼児の手の届くところに置いたりしない

感電・けがの原因となるおそれがあります。



キャスター付きの台に設置したときは、必ずキャスター止めをする

動いたり、倒れたりして、けがの原因となるおそれがあります。



本プリンターのカッターには手を触れない

本プリンターの前面部にあるカッターには、清掃時以外、手を触れないで下さい。けがの原因となるおそれがあります。



万一、本体を落としたり、カバーなどを破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に連絡する

そのまま使用すると、火災・感電のおそれがあります。

1章

初めてお使いになるとき

この章では、プリンターの箱を開けてから、中身を確認し、テスト印刷、コンピューターに接続するまでを以下の手順で説明します。

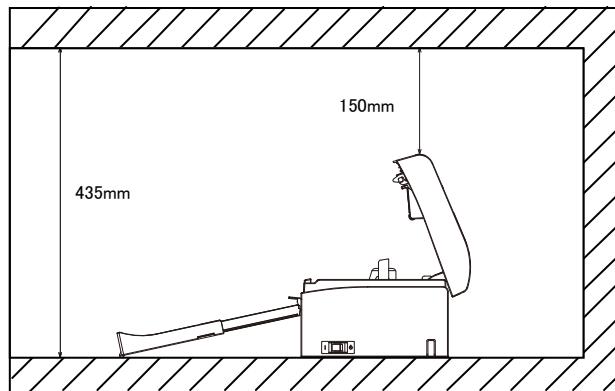
- | | |
|------------------------|----------|
| 1 設置場所を用意する | → 7 ページ |
| 2 箱の中身を確認する | → 9 ページ |
| 3 各部の名前と機能を覚える | → 12 ページ |
| 4 電源コード・AC アダプターを接続する | → 17 ページ |
| 5 電源を ON にする (OFF にする) | → 21 ページ |
| 6 用紙をセットする | → 22 ページ |
| 7 テスト印刷をする | → 33 ページ |
| 8 コンピューターに接続する | → 35 ページ |
| 9 ソフトウェアをインストールする | → 39 ページ |
| 10 ネットワークの設定をする | → 39 ページ |

1 設置場所を用意する

設置にふさわしい場所を用意してください。また、ここでは設置準備および日常の運用の際に本プリンターを正しく安全に動作させるための注意事項も記載しています。

本体の設置について

本プリンターを操作するための十分なスペースが確保でき、風通しが良く、平らで水平な場所に本プリンターを設置してください。また、本プリンターの周辺には、下記のような空間を確保してください。



プリンター右側面

⚠ 注意

次のような場所には設置しないでください。火災や感電、けがの原因となるおそれがあります。

- ・ 直射日光が当たる場所
- ・ 高温、多湿な場所
- ・ 急激な温度変化がある場所
- ・ 振動のある場所
- ・ ほこりが多い場所
- ・ 磁気や電磁波を発生する機器の近く
- ・ 火気や水気に近い場所
- ・ 不安定な台の上

正しく使用するため

本プリンターを正しくお使いいただくために、次のことを守ってください。守らないと、故障・誤動作・破損の原因となります。

- プリンターを動作させる際は必ず用紙をセットしてください。
- 印刷した用紙の表面を先の尖ったものでこすったり、火を近づけたり、水をかけたり、薬品・溶剤等で拭かないでください。印刷内容の判読不能の原因となります。印刷面の定着性を確認の上、適切な方法で取り扱ってください。
- 本プリンターは NEC 指定の消耗品を使用した時に印刷品質や性能が最も安定するように設計されています。NEC 指定以外の消耗品を使用した場合、プリンター本来の性能を発揮できない場合があるため、消耗品は NEC 指定品を使用することを推奨します。
- 用紙などの消耗品は、室温で適度な湿度のところに保管してください。直射日光の当たるところ、高温で多湿なところに保管すると、変質・変色の原因となります。また、変質・変色した用紙を使用すると、印刷品質への悪影響や故障の原因となります。
- オプション類は NEC の純正品（指定品）を使用してください。NEC の純正品（指定品）以外を使用すると、故障・誤動作の原因となります。

2 箱の中身を確認する

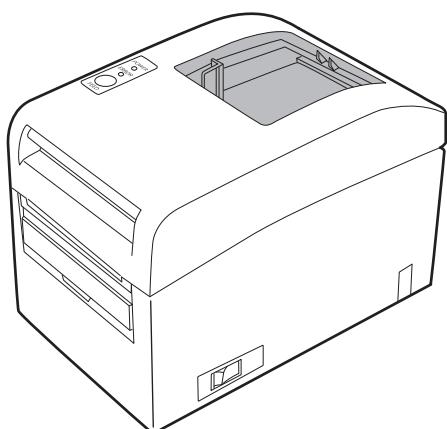
同梱品

箱を開けて、次のものが入っていることを確認してください。万一、足りないものや破損しているものがある場合は、販売店に連絡してください。

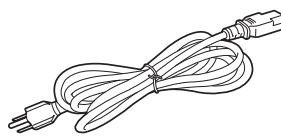


梱包材（箱や緩衝材など）はプリンターを運搬するときに必要となりますので、保管しておいてください。

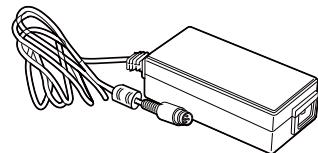
プリンター本体



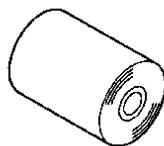
電源コード^{*1}



ACアダプター^{*1}



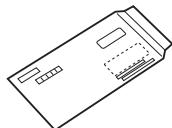
テスト用紙
(感熱ロール紙)



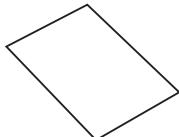
ソフトウェア CD-ROM^{*2}



保証書



ソフトウェアの
ご使用条件



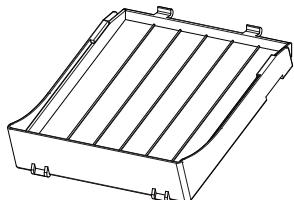
安全にお使い
いただくために



クイックスタートガイド



スタッカー



LAN モデルにのみ添付

プリントサーバー
ソフトウェア CD-ROM



USB ケーブル、RS-232C ケーブル、パラレル
ケーブルおよび LAN ケーブルは添付されて
いません。お使いになる環境に合わせて別途
お買い求めください。

*1 本プリンター以外の用途には、絶対にご使用にならないでください。

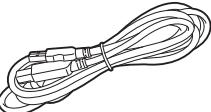
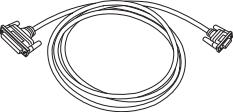
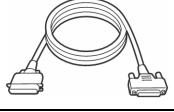
*2 CD-ROM には、「プリンタードライバー」および「リモートパネル」「ステータスマニターナー」のソフトウェアとソフトウェアマニュアル他が収められています。

別売品

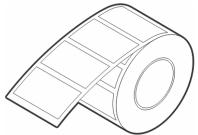
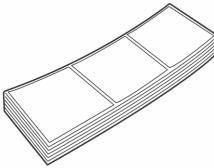
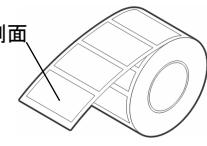
ご購入にあたりましては、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にお問い合わせください。

オプション

オプションの取り付け手順などの詳細については「8 コンピューターに接続する」(35 ページ) を参照してください。

形 状	品 名	説 明
	PR-T300S-U01 USB ケーブル	USB2.0 規格認証のインターフェースケーブルです。
	PR-T300S-R01 RS-232C ケーブル	RS-232C 準拠インターフェースケーブルです。
	PC-PRCA-01 プリンター ケーブル	パラレルインターフェースケーブルです。 D-Sub25 ピン・1.5m。
	PC-CA205 プリンター ケーブル	パラレルインターフェースケーブルです。 D-Sub25 ピン・4m。

消耗品

形 状	品 名	説 明
	用紙 (ロール紙)	本プリンターで使用できる用紙です。 用途に応じた用紙を用意しています。詳しくは「用紙一覧」(11 ページ) をご覧ください。 本プリンターは「外巻き」のみ対応しています。
	用紙 (ファンフォールド紙)	 【外巻き】

— ✓ チェック —

- 本プリンターは NEC が指定する消耗品を使用時に、印刷品質や性能が最も安定するように設計されています。NEC 指定以外の消耗品を使用された場合、プリンター本来の性能を発揮できない場合がありますので、消耗品は NEC 指定品のご使用をお勧めします。
- 印刷品質を保つために用紙はなるべく早くお使いください。

用紙仕様

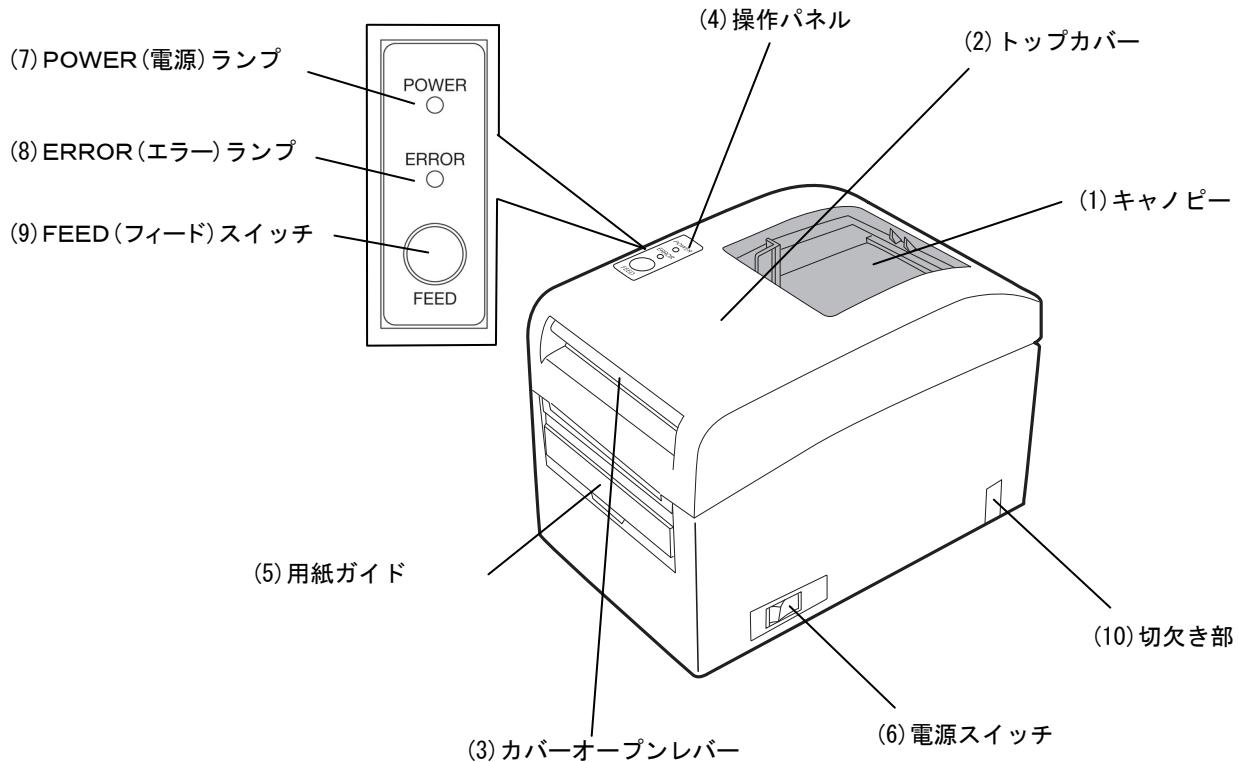
用紙一覧

印刷方式	品名	説明
感熱	一般感熱紙	安価な感熱紙で、ラベルとタグを用意しています。
	長期保存感熱紙	保存性に優れたラベルです。

3 各部の名前と機能を覚える

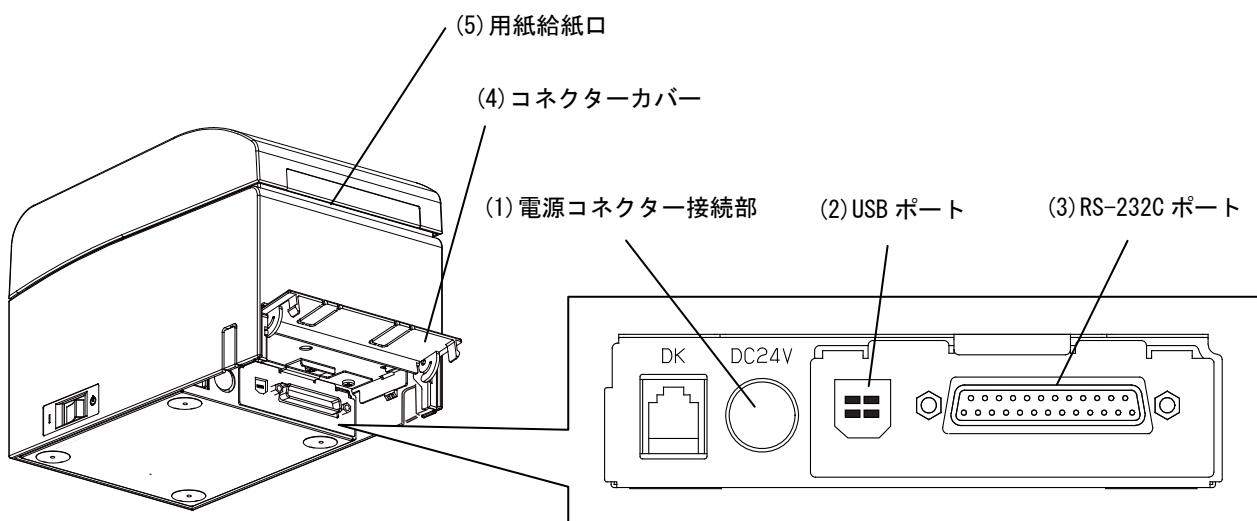
外 観

前 面



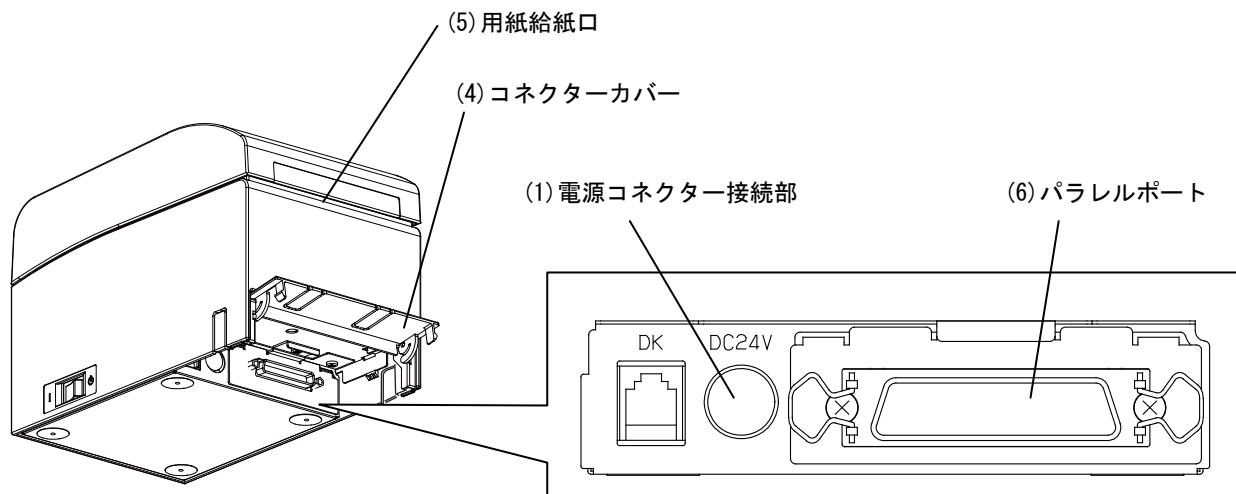
番号	部品名	機能
(1)	キャノピー	用紙の残量を確認する窓です。
(2)	トップカバー	用紙を取り外すときや、交換、紙詰まりの処理をするときに開閉します。
(3)	カバーオープンレバー	トップカバーを開けるときに使用します。
(4)	操作パネル	プリンターの状態を示すランプ、プリンターを操作するスイッチがあります。
(5)	用紙ガイド	印刷長が 50mm を超える場合に用紙ガイドを開いて使用します。
(6)	電源スイッチ	プリンターの電源を ON/OFF します。
(7)	POWER(電源)ランプ	プリンターの電源の状態を表示するランプです。 点灯：電源が ON の状態です。 消灯：電源が OFF の状態です。 点滅：復旧不可能アラーム状態です。
(8)	ERROR(エラー)ランプ	エラーが発生したときに点灯・点滅するランプです。
(9)	FEED(フィード)スイッチ	用紙を送るスイッチです。
(10)	切欠き部	ケーブルを通すときに切り取る部分です。

背面



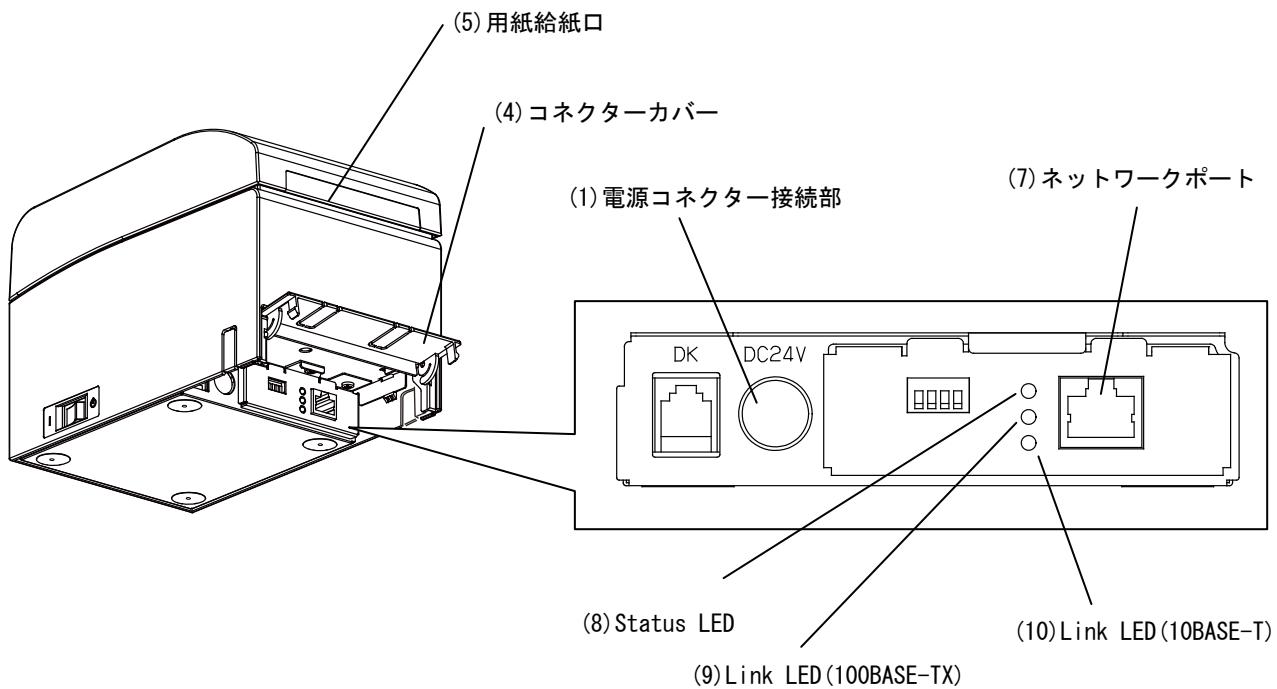
<USB + RS-232C モデルの背面>

番号	部品名	機能
(1)	電源コネクター接続部	添付の AC アダプターの電源コネクターを接続するところです。
(2)	USB ポート	USB (Type B) ケーブルを接続するポートです。
(3)	RS-232C ポート	RS-232C インターフェースケーブルを接続するポートです。
(4)	コネクターカバー	電源ケーブル、インターフェースケーブルを接続するときに開けるカバーです。
(5)	用紙給紙口	ファンフォールド紙をプリンター内部へ通す際に使用するところです。



<パラレルモデルの背面>

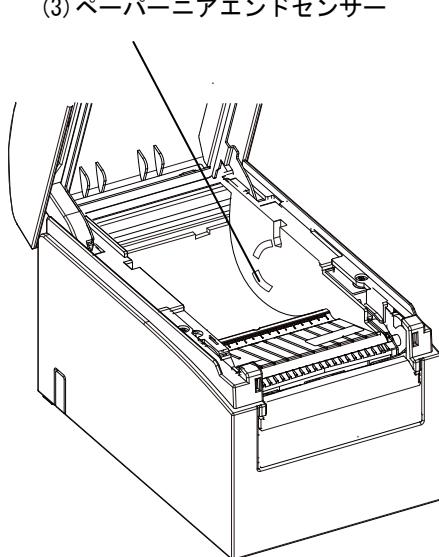
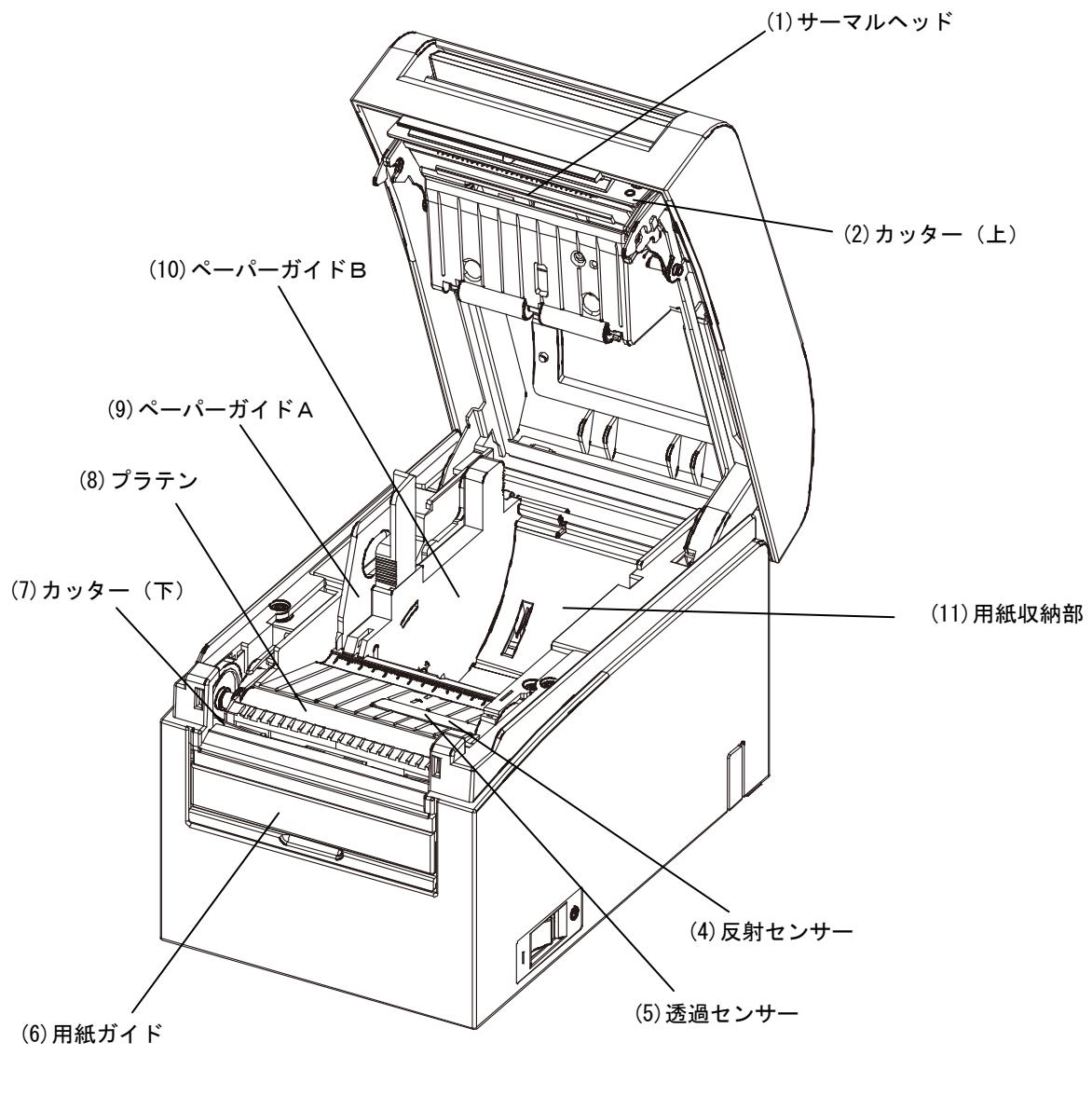
番号	部品名	機能
(6)	パラレルポート	パラレルインターフェースケーブルを接続するポートです。



<LAN モデルの背面>

番号	部品名	機能
(7)	ネットワークポート	ネットワークケーブルを接続します (10BASE-T/100BASE-TX)。
(8)	Status LED	通信中に点滅します。
(9)	Link LED (100BASE-TX)	100BASE-TX で接続が確立されると点灯します。
(10)	Link LED (10BASE-T)	10BASE-T で接続が確立されると点灯します。

印刷機構部



番号	部品名	機能
(1)	サーマルヘッド	熱を加えて印刷する部品です。
(2)	カッター（上）	用紙をカットする刃です。
(3)	ペーパーニアエンドセンサー	用紙の残量を感知するセンサーです。
(4)	反射センサー	用紙の位置を感知するセンサーです。（用紙裏の黒マークの感知用）
(5)	透過センサー	用紙の有無を感知するセンサーです。
(6)	用紙ガイド	50mm を超える印刷をする場合、開いて使用します。
(7)	カッター（下）	用紙をカットする刃です。
(8)	プラテン	用紙を送ります。
(9)	ペーパーガイドA	用紙を保持する着脱式のガイドです。
(10)	ペーパーガイドB	用紙を保持する可動式のガイドです。
(11)	用紙収納部	用紙を収納する場所です。

4 電源コード・AC アダプターを接続する

⚠ 注意

電源コードを接続するときは次のことを守ってください。守らないと火災や感電の原因となります。

- 電源コードは電流容量 10 アンペア (A) 以上の壁付きコンセントに接続してください。
- 本プリンターに添付の AC アダプターと電源コードを使用してください。
- コンピューター本体の補助コンセントには接続しないでください。
- 延長コードを使った配線はしないでください。
- 電源コードのプラグは根元までしっかりと差し込んでください。
- 電源コードが損傷した場合は、すぐにお買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にご相談ください。
- 電源コードに殺虫剤などの薬品類をかけないようにしてください。
- ぬれた手で電源プラグの抜き差しを行わないでください。
- 電源プラグは年 1 回以上コンセントから抜き、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。
- 長期間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。電源の供給を完全に停止するためには電源プラグを抜く必要があります。電源スイッチを OFF 「○」にしても電源の供給は停止しません。
- プリンターから電源コネクターを取り外すときは、電源コネクター部を持って抜いてください。電源コネクター部を持って抜かないと接続のロックが解除できません。ケーブルを持って引っ張るとコネクター部が破損し、火災や感電のおそれがあります。

— ⚠ 重要 —

- プラグを差し込む前にプリンターの電源が OFF になっていることを確認してください。
- 電圧低下を避けるため、空調機や電動機器など、大容量の電流を使う系統との電源共用は避けてください。
- 添付の電源コードおよび AC アダプターを他の装置で使用しないでください。

AC アダプターの接続

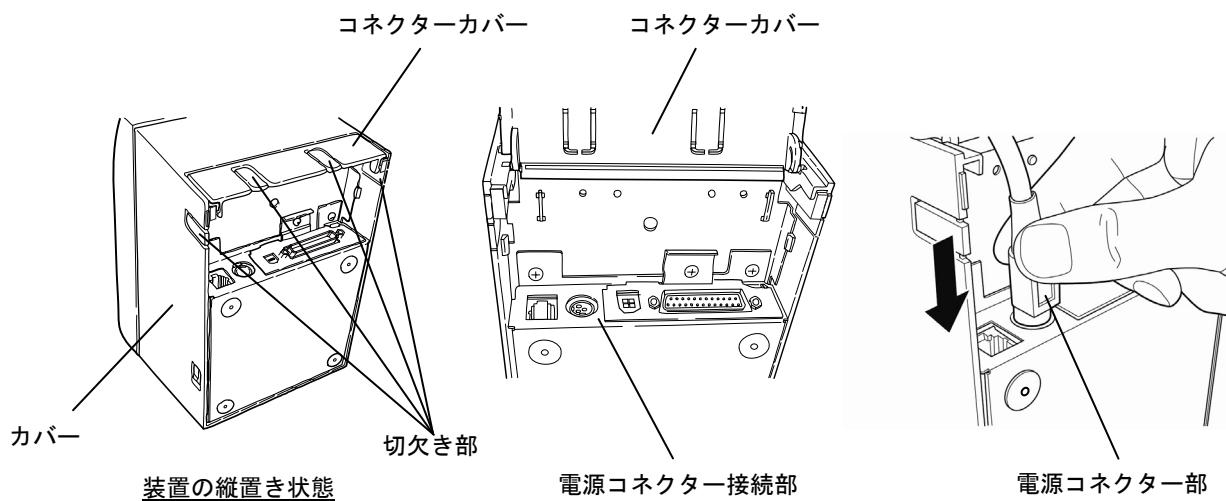
⚠ 注意

- AC アダプターの接続は、装置を縦置きし、操作しやすい状態で行ってください。
- ケーブルを装置背面または左右側面から出す場合は、コネクターカバーまたはカバーの切欠き部をニッパ等で切り取ってください。切り取らないとケーブルがプリンターにつぶされて故障の原因となります。
- AC アダプターの接続を行う場合は、作業を行う前にプリンターの電源スイッチを OFF にし、また電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。

- ① プリンターの電源スイッチが OFF になっていることを確認してください。
- ② コネクターカバーを上方に開き、AC アダプターの電源コネクター部をプリンターの電源コネクター接続部に接続します。

— ⚡ 重要 —

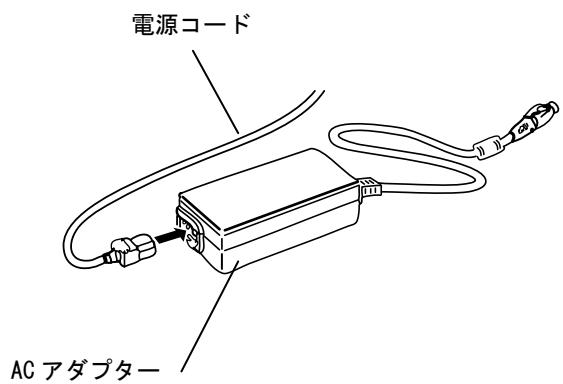
AC アダプターの電源コネクター部をプリンターの電源コネクター接続部に接続する場合は、確実にプリンターの電源が OFF になっていることを確認し、AC アダプターの電源コネクターの向きに十分注意して接続してください。正しく接続しないと、プリンターが破損する可能性があります。



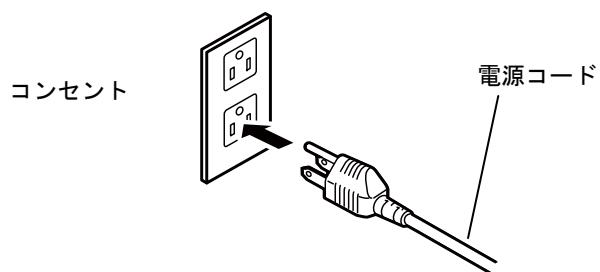
— ✓ チェック —

抜け防止のためコネクター挿入は固めになっておりますので、挿入の際は電源コネクター部を握り、電源コネクター部を上側にスライドさせながら、カチッとロックするまで挿入してください。

③ ACアダプターと電源コードを接続してください。



④ 電源コードのプラグをコンセントに差し込んでください。

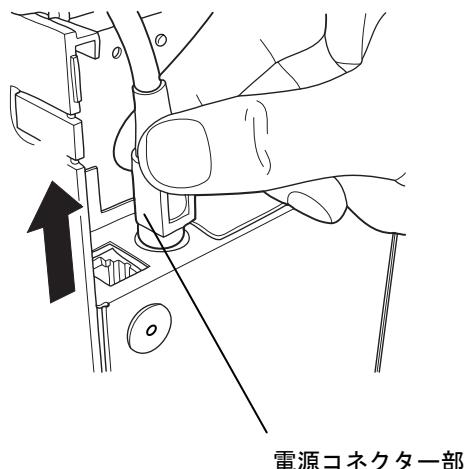


AC アダプターを取り外す場合

- ① 作業を行う前にプリンターの電源スイッチを OFF にしてください。
- ② 電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。
- ③ プリンターから AC アダプターの電源コードを抜いてください。



AC アダプターの電源コードを外す時は、下図の様に電源コネクタ一部を持って引っ張ってください。
ロックが外れ、容易に取り外せます。電源コードを無理に引っ張るとコネクタ一部が破損します。



5 電源を ON にする(OFF にする)

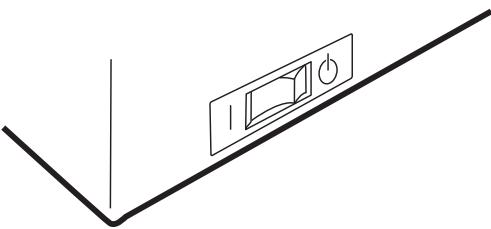
本プリンターは電源 ON 時にサーマルヘッドやメモリーのチェックを行います。



電源の ON/OFF は電源スイッチで行ってください。電源プラグを抜き差しして ON/OFF すると、故障の原因となります。

電源を ON にする

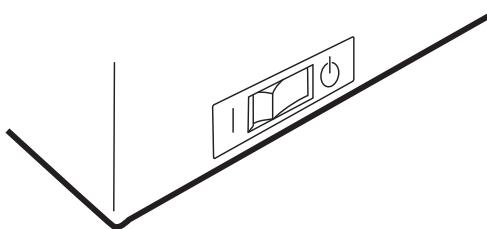
プリンターの電源スイッチを ON にします。
「|」側が ON です。



電源が入らなかったり、エラーメッセージが表示したときは、5章の「エラー表示が出ているときは」(72 ページ) を参照してください。

電源を OFF にする

プリンターの電源スイッチを OFF にします。
「○」側が OFF です。



用紙の印刷中は電源スイッチを OFF にしないでください。紙づまりや故障の原因となります。ただし、プリンターから異臭がしたり発煙しているときは、ただちに電源スイッチを OFF にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。

6 用紙をセットする

ここでは、初めて本プリンターに用紙を取り付ける手順について説明します。

- プリンターの中に入れて使用するロール紙の場合 26 ページ
- プリンターの外で使用するファンフォールド紙の場合 29 ページ

本プリンターではラベルとタグを使用することができます。用紙は NEC 指定の純正品を推奨します。

用紙の購入および用紙の作成につきましては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。



- 注意**
- 使用途中で大きい幅の用紙から小さい幅の用紙（80mm から 70mm 等）への切り替えは行わないでください。小さい幅の用紙を使用した場合、サーマルヘッドの一部が紙無し状態で直接プラテンローラーに触れているため、サーマルヘッドが磨耗し印刷不良をおこす可能性があります。また、カッターも紙の無い部分で稼働しているため、カッターが磨耗しカット不良をおこす可能性があります。
 - サーマルヘッドは静電気で破損する場合があります。サーマルヘッドには清掃時以外触れない様にしてください。
 - トップカバーは後方へ全開にしてください。中途半端な状態にしておくと不意に下がり、けがの原因となるおそれがあります。
 - トップカバーを開けたときプリンター背面とトップカバーの間に指を挟まないように注意してください。
 - 印刷直後は、サーマルヘッドおよびその周辺部に手を触れないでください。火傷の原因となるおそれがあります。
 - プリンター内の突起部などに手などをぶつけないように注意してください。けがや本体の破損の原因となるおそれがあります。



本プリンターは NEC 指定の消耗品を使用した時に印刷品質や性能が最も安定するように設計されています。NEC 指定以外の消耗品を使用した場合、プリンター本来の性能を発揮できない場合がありますので、用紙は NEC 指定品を使用することを推奨します。

ペーパーガイドの取り付け・取り外し

ペーパーガイドの使用方法

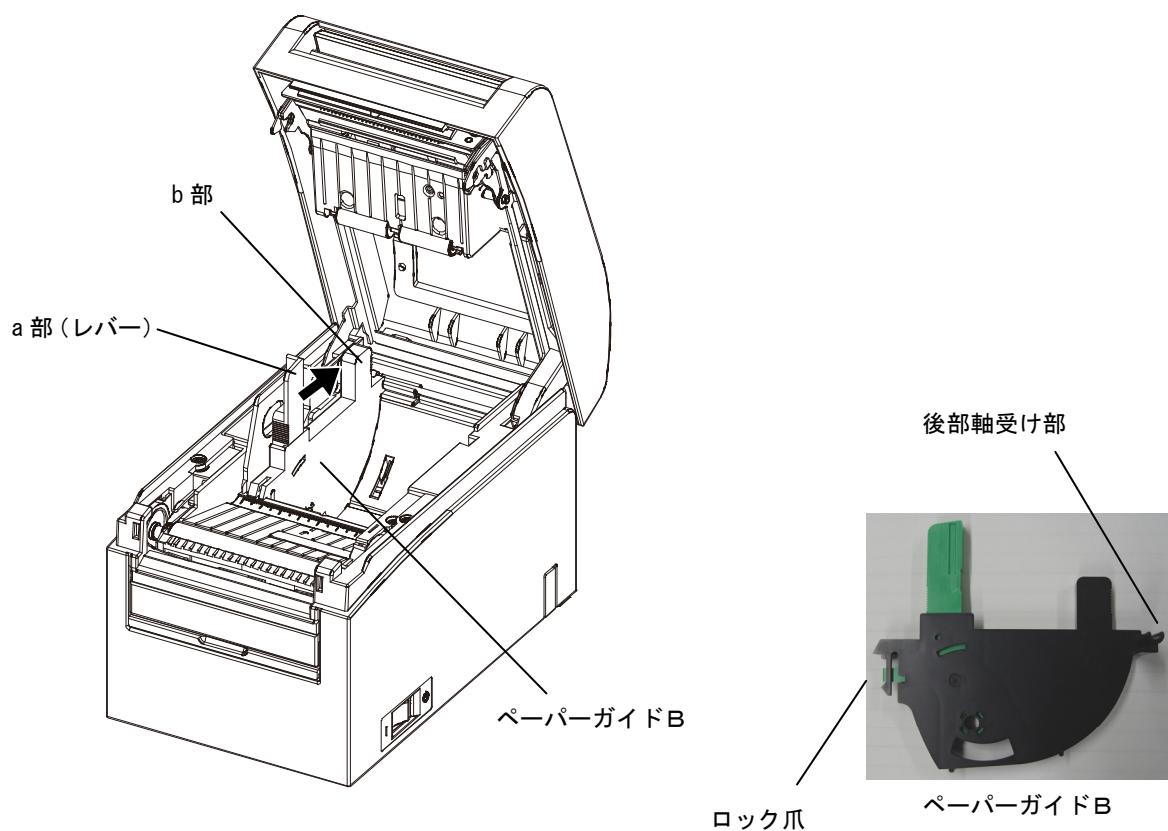
ペーパーガイドA・Bの組合せにより、各用紙幅の用紙を使用することができます。

- ペーパーガイドBの位置調整により 70~25.4mm 幅の用紙を使用することができます。
- 80mm 幅の用紙を使用する時はペーパーガイドBを取り外してください。
- 83mm 幅の用紙を使用する時はペーパーガイドAとペーパーガイドBを取り外してください。

ペーパーガイドの取り外し

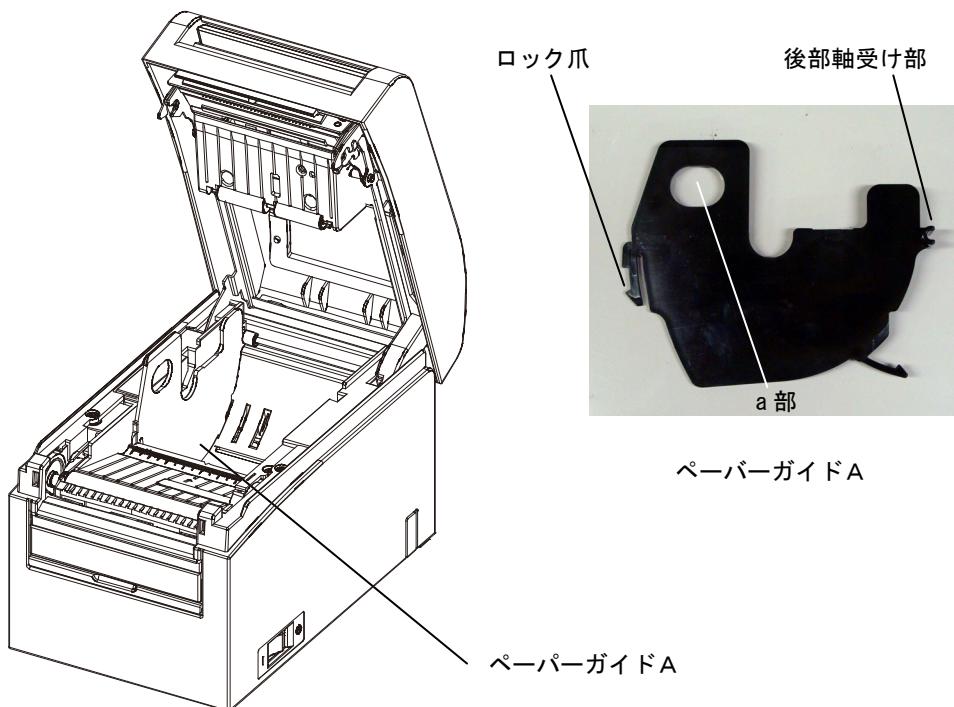
ペーパーガイドBの取り外し方法

- ① ペーパーガイドBのa部(レバー)を矢印方向に押し込んだ状態でb部を摘み、上方に持ち上げロック爪を外し、後部軸受け部を取り外します。



ペーパーガイドAの取り外し方法

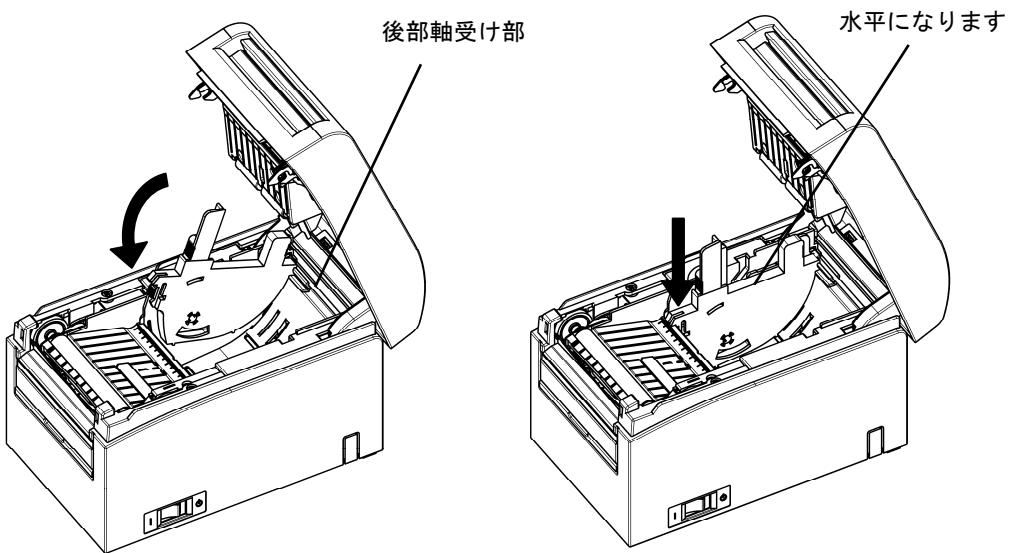
- ① ペーパーガイドAのa部を上方に持ち上げロック爪を外し、後部軸受け部を取り外します。



ペーパーガイドの取り付け

ペーパーガイドBの取り付け方法

- ① ペーパーガイドBの後部軸受け部から取り付けます。

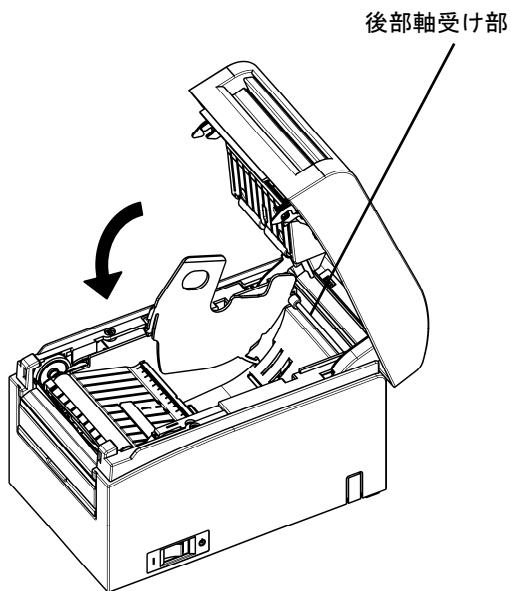


— ✓ チェック —

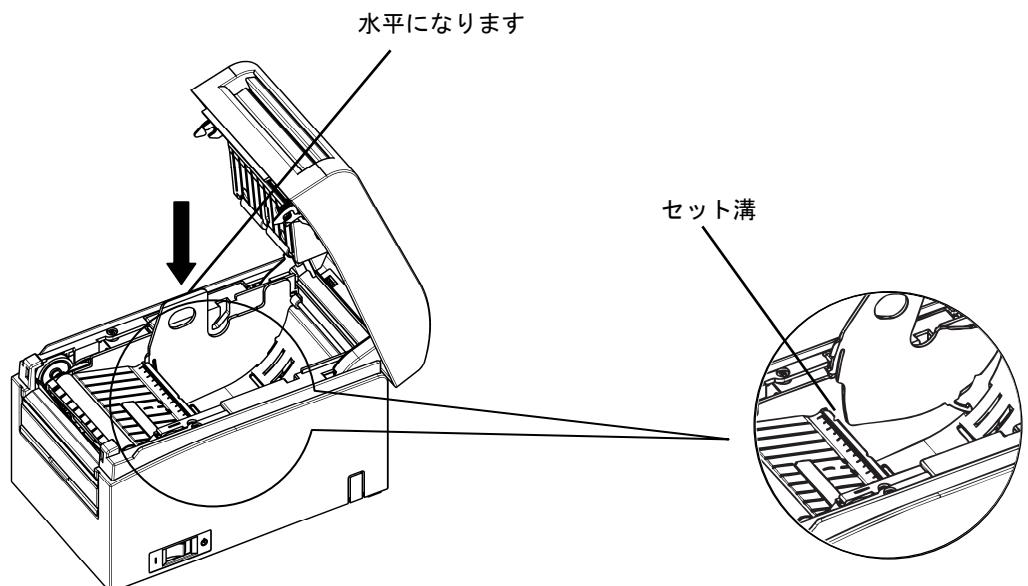
カチッとロックするまで押し込みペーパーガイドの上面が水平になっていることを確認してください。

ペーパーガイドAの取り付け方法

- ① ペーパーガイドAの後部軸受け部から取り付けます。



- ② ペーパーガイドAの先端を装置のセット溝に合わせて取り付けます。



— ✓ チェック —

- ペーパーガイドAをセット溝に取り付ける場合は指の挟み込みに注意してください。
- カチッとロックするまで押し込みペーパーガイドAの上面が水平になっていることを確認してください。

ロール紙のセット

⚠ 注意

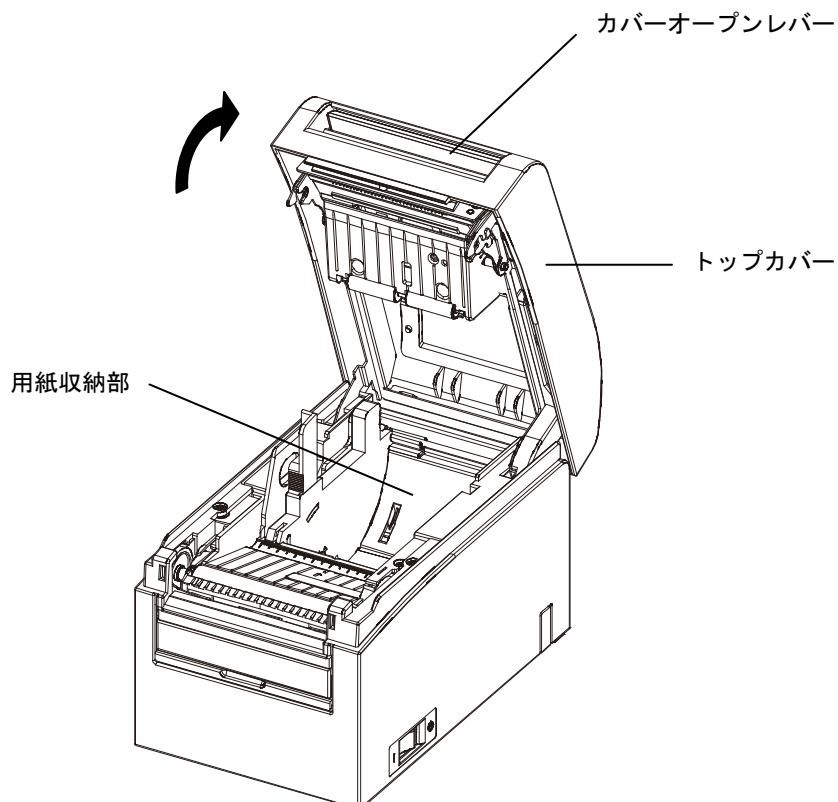
- トップカバーの開閉は、途中ロック感がありますが最後まで開けてください。途中で止めると急に閉まり指を挟むなどがをするおそれがあります。
- ロール紙は、変形がないものを使用してください。下図のようなものを使用すると用紙詰まりや印刷詰まり等の故障原因になります。



- セットしたロール紙に下図のようなたるみがある場合は、たるみを取り除いて使用してください。たるんだまま使用しますと用紙詰まり、印刷詰まり、ペーパーニアエンドが検出できませんので注意してください。



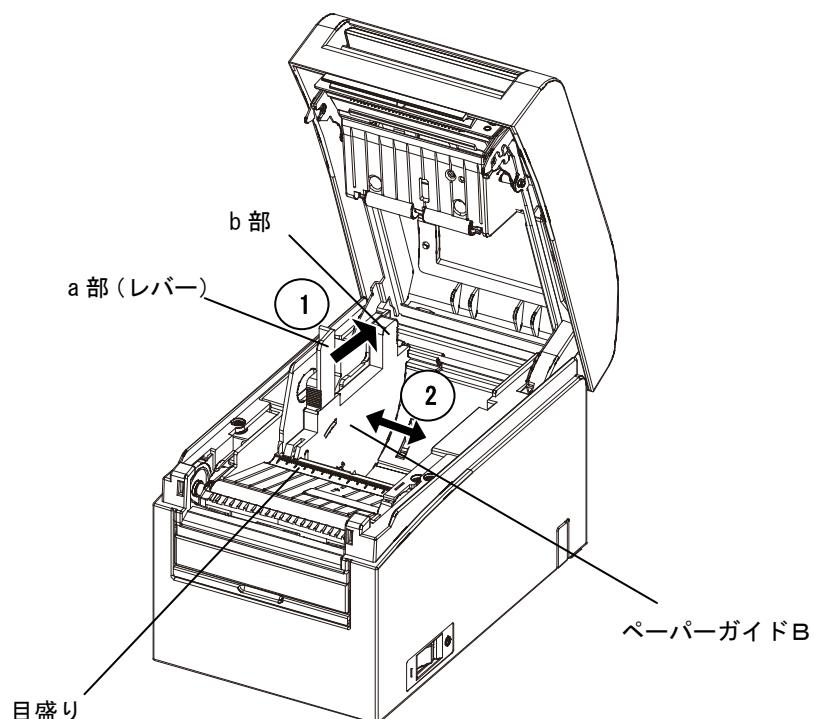
① カバーオープンレバーを押しながら上に引き上げてトップカバーを開きます。



- ② ペーパーガイドBのa部(レバー)を①方向に押し込んだ状態でb部を挿み、②方向にスライドさせ、希望の位置にセットします。必要に応じて目盛りをご利用ください。



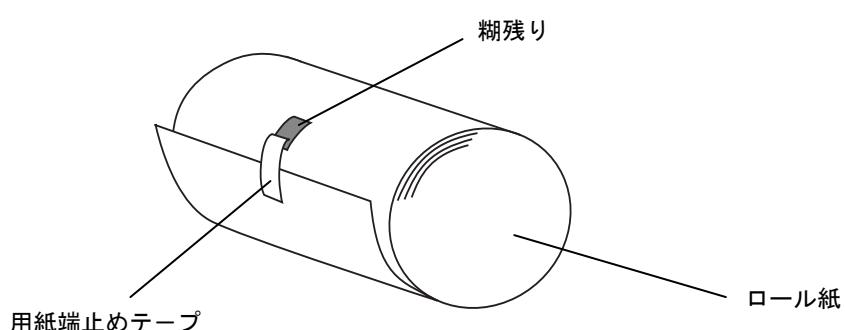
ペーパーガイドBは、用紙幅の最大値に対して約0.5mm余裕をもたせてセットしてください。



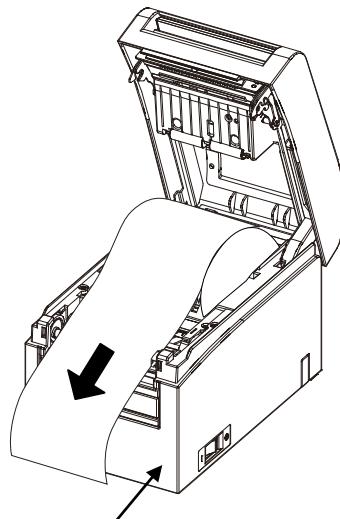
- ③ 用紙を用紙収納部にセットします。



用紙端がテープ止めや糊付けで固定されている用紙を使用する場合は、糊が残っている部分に印刷が行われませんので残さず一周分程度取り除いてください。またサーマルヘッドに糊等が付着すると印刷抜け等、悪影響を及ぼす場合がありますので必ず取り除いてください。



- ④ ロール紙を図のような向きに印刷面を上にして正しくセットし、紙端をカバー前面より先に出るように引き出してください。

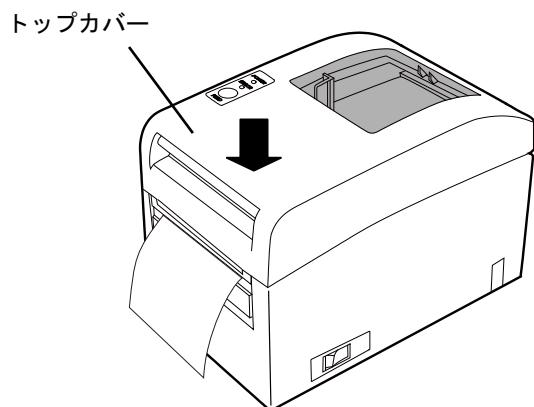


カバー前面

— ✓ チェック —

- ロール紙は真っ直ぐにセットしてください。
- ロール紙を正しくセットしないと用紙詰まりや印刷乱れ等の原因になります。
- 内巻きロール紙は使用できません。

- ⑤ トップカバーを静かに閉じます。



— ✓ チェック —

トップカバーを閉じる際は、中央付近を押して、カチッと音がするまでしっかりと閉めてください。ロックが不完全な場合、印刷動作が行われないことがあります。

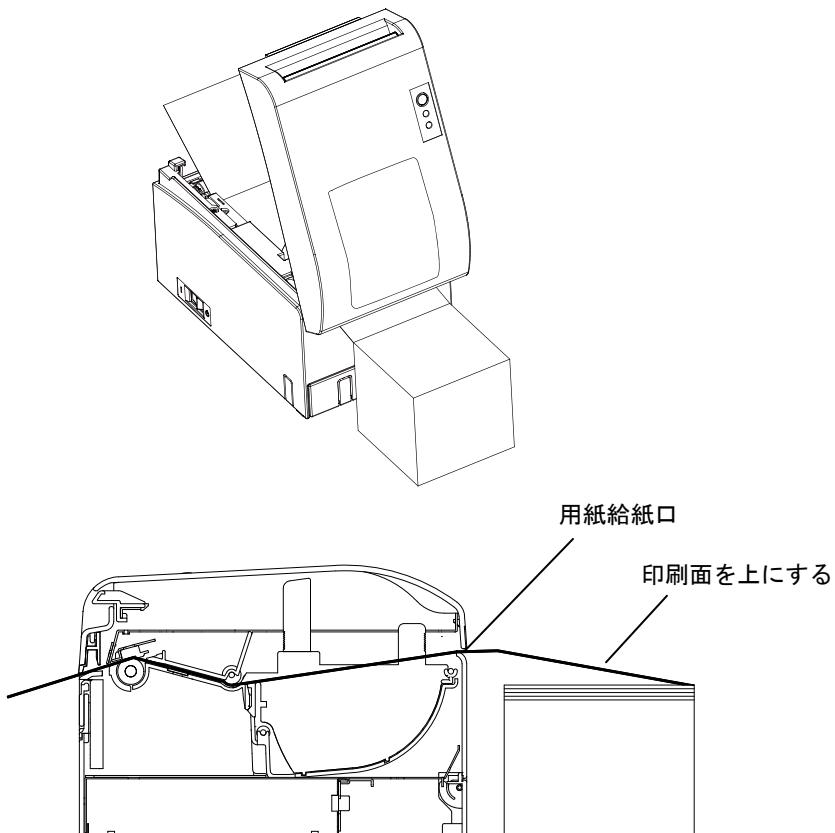
ファンフォールド紙のセット



<ファンフォールド紙を置くときの注意>

- 装置内のペーパーガイドに対してまっすぐになるように置いてください。
- プリンターに対して斜めに置かないでください。

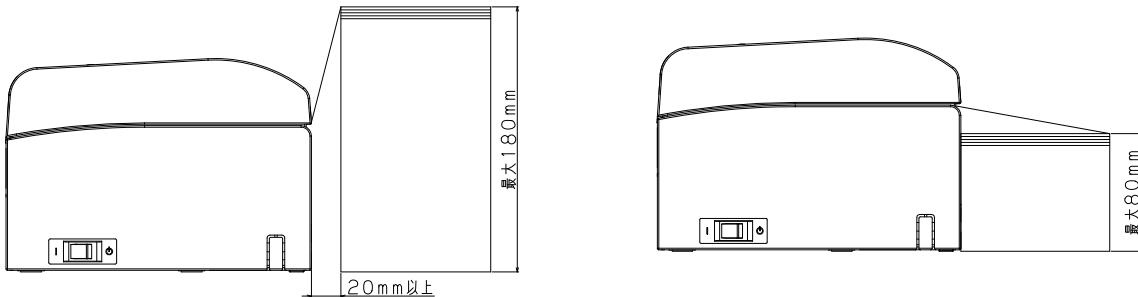
- ① カバーオープンレバーを押しながら上に引き上げてトップカバーを開きます。
- ② 印刷面を上にして用紙をプリンター背面の用紙給紙口から内部へ通します。必要に応じてペーパーガイドを調整してください。
- ③ 用紙を引き出します。紙端をカバー前面より先に出るように引き出してください。



- ④ トップカバーを両手で「カチッ」と音が出るまで押して確実に閉めてください。

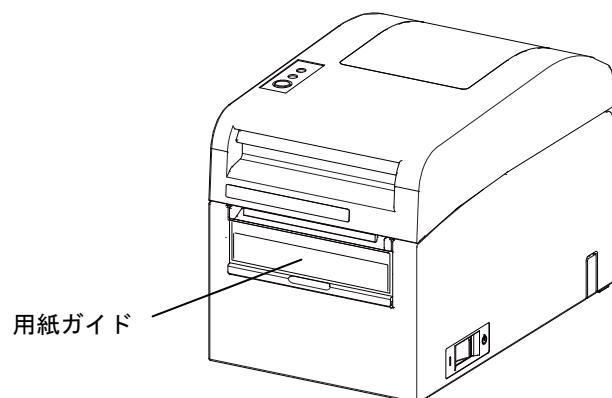
重要

- ファンフォールド紙の設置は、プリンター背面から 20mm 以上離して設置してください。最大折りたたみ高さ 180mm の設置が可能となります。
プリンター背面に突き当てて設置する場合、最大折りたたみ高さは 80mm となります。
- プリンター左右面からはみ出さないように設置してください。
- ミシン目付きの用紙を使用する場合は、ミシン目およびミシン目の手前 15mm(給紙方向に対し)まではカット禁止領域です。動作不良の原因になります。
- ミシン目付きの用紙を使用する場合は、用紙走行時の引っ掛けり、用紙詰まり、用紙搬送時の切断等の動作が起きないことを確認のうえ使用してください。サーマルヘッドの走行寿命が短くなる場合があります。
- ファンフォールド紙を使用した場合は、ペーパーニアエンド検出機能は使用できません。
ERRORランプ表示は点滅したままの状態となります。
ERRORランプ表示の点滅が気になる場合は、メニュー モードで PNE 検出設定を無効にしてください。

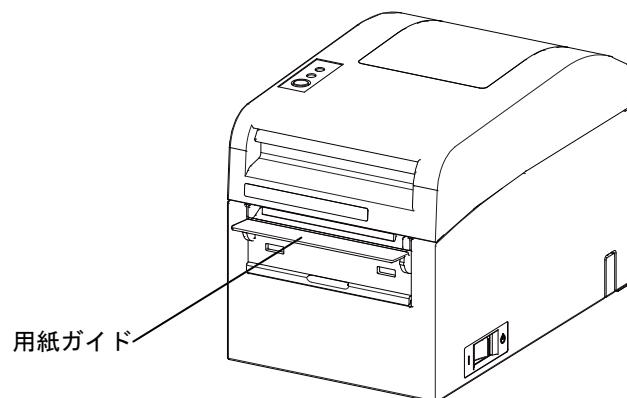


用紙ガイドのセット

1回あたりの印刷長が50mmを超える場合は用紙ガイドを開いて使用してください。50mm以下の場合は用紙ガイドを閉じて使用してください。



印刷長が50mm以下の場合：用紙ガイドを閉じた状態



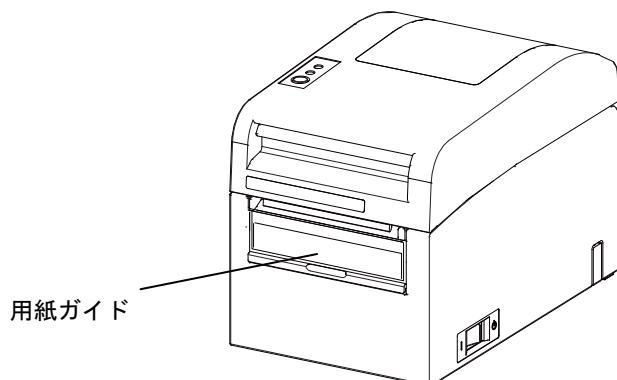
印刷長が50mmを超える場合：用紙ガイドを開いた状態

スタッカーのセット

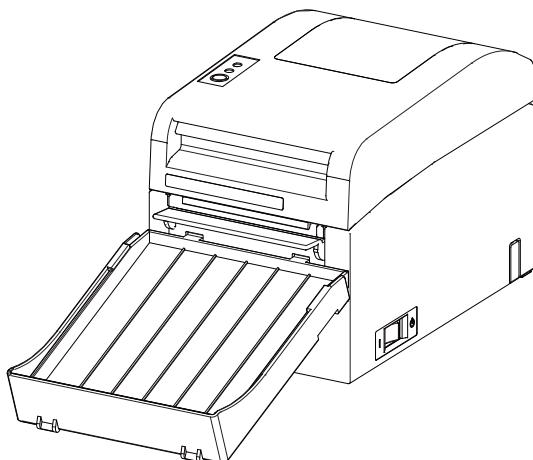
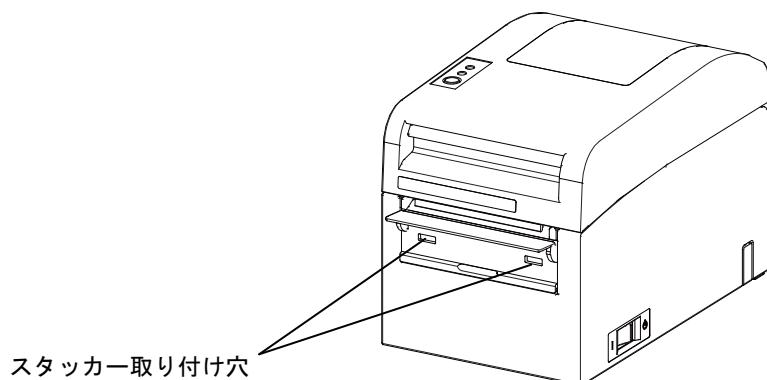
⚠ 注意

- スタッカーの長さを調整する際は、指などをはさまないように十分注意してください。

- ① 用紙ガイドを開けます。



- ② 用紙ガイドの裏にあるスタッカー取り付け穴にスタッカーを突き当て、手前に回転させて取り付けます。



- ③ 用紙ガイドを閉めます。



スタッカーは必ず平面上で使用してください。ぶらさげたりするとプリンター本体がこわれるおそれがあります。

7 テスト印刷をする

プリンターが正常に動作することを確かめるために、テスト印刷を行います。

このテスト印刷は5章の「故障かな？と思ったときは」(71 ページ) の処置が済んだ後にも実行することをお勧めします。



テスト印刷に使用する用紙はプリンターに添付のテスト用紙（感熱ロール紙）をご使用ください。

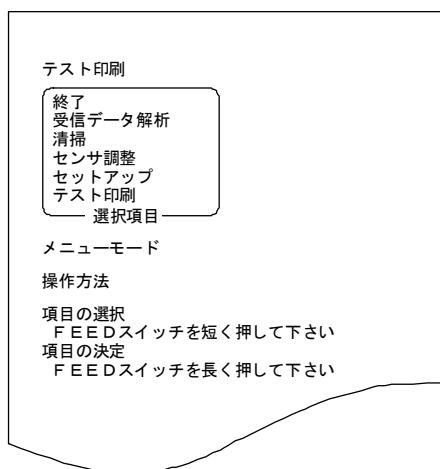
① プリンターの電源スイッチが OFF になっていることを確認します。

② 用紙をセットします。

③ 操作パネルのFEEDスイッチを押しながらプリンターの電源スイッチを ON になると以下の印刷を行います。



- プリンターの印刷が開始するまでFEEDスイッチを押し続けてください。
 - 設定したい項目が行き過ぎてしまった場合は、FEEDスイッチを繰返し短く押すことで項目の初めに戻ります。
-



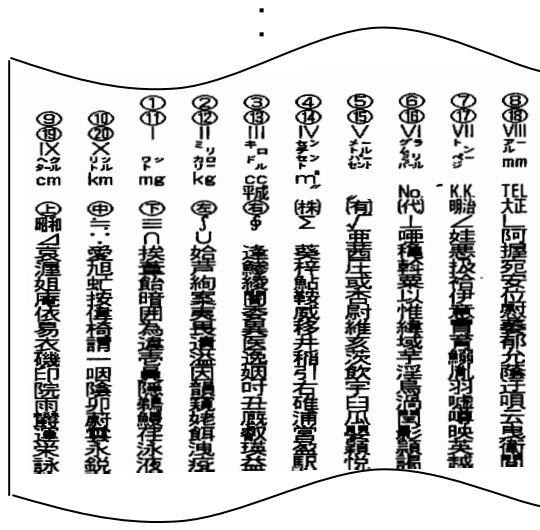
- ④ 「テスト印刷」の項目でFEEDスイッチを長く押して決定します。
テスト印刷を開始し、設定項目を全て印刷すると自動で停止します。



テスト印刷は同梱のテスト用感熱ロール紙を 425mm 使用します。

テスト印刷内容（例）

Firmware Number	LDJX0001
Firmware Version	0.01
<<用紙設定>>	
基準位置補正	0.0mm
手切り位置補正	0.0mm
用紙レイアウト戻帰	コマンド / ハードクローズ
電源投入後の頭出し	実行する
頭出し時のカット	実行しない
センサ自動調整	有効
<<メモリスイッチ>>	
電源 ON 通知	送信する
受信バッファ	4KB
BUSY 条件	ハーフフル



- ⑤ テスト印刷を終了するためにプリンターの電源を OFF にします。

8 コンピューターに接続する

ここではコンピューターとRS-232C、USB、LAN、またはパラレルの各インターフェースへの接続手順について説明します。

⚠ 注意

- プリンターの電源スイッチがOFFになっていることを確認してください。
- ケーブルを装置背面および左右側面から出す場合は、コネクターカバーまたはカバーの切欠き部をニッパ等で切り取ってください。切り取らないとケーブルがつぶれて故障の原因となります。

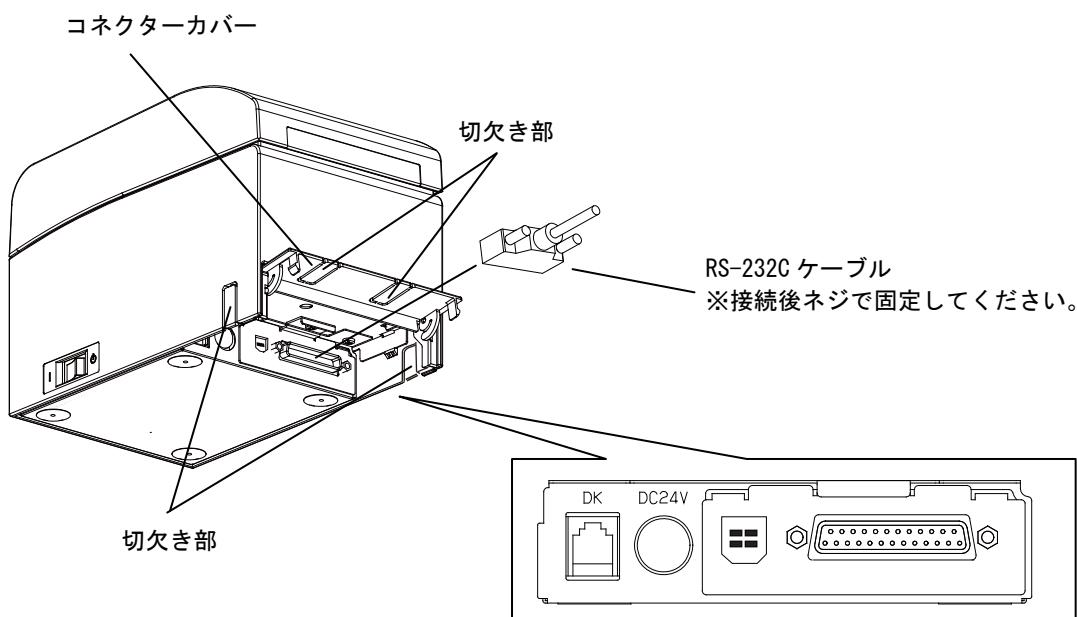
装置背面のコネクターカバーを上方に開き、インターフェースケーブルをコネクターに接続します。
接続後コネクターカバーを閉じてください。

インターフェースケーブルの接続

RS-232C ケーブルで接続する

— ✓ チェック —

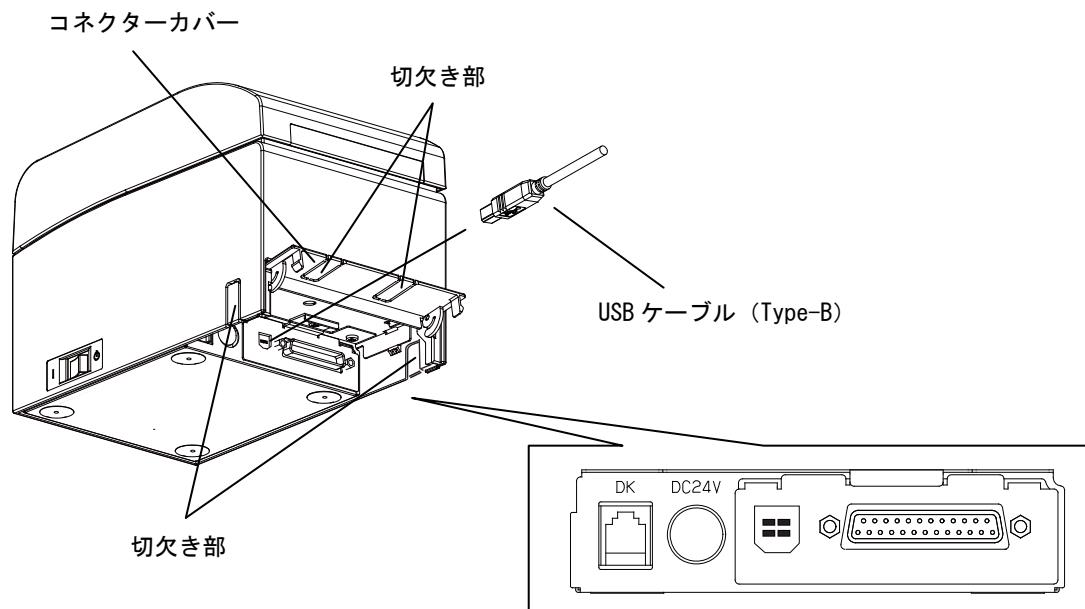
RS-232C ケーブルはプリンターに添付されていません。ご購入については「オプション」(10 ページ)を参照して、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口までお問い合わせください。



USB ケーブルで接続する



USB ケーブルはプリンターに添付されていません。ご購入については「オプション」（10 ページ）を参照して、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口までお問い合わせください。



LAN ケーブルで接続する



LAN インターフェースでネットワークに接続する場合、電気通信事業法で定められた電気通信事業者の通信設備（ADSL モデムや CATV など）へ直接接続することは許可されていません。



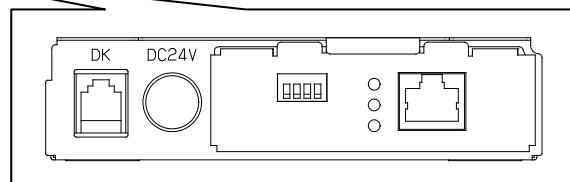
100BASE-TX 環境でお使いの場合は、100BASE-TX 対応のイーサネットハブ（HUB）とカテゴリー5以上のネットワークケーブル、10BASE-T 環境でお使いの場合は、カテゴリー3以上のネットワークケーブルをご用意ください。

コネクターカバー

切欠き部

LAN ケーブル

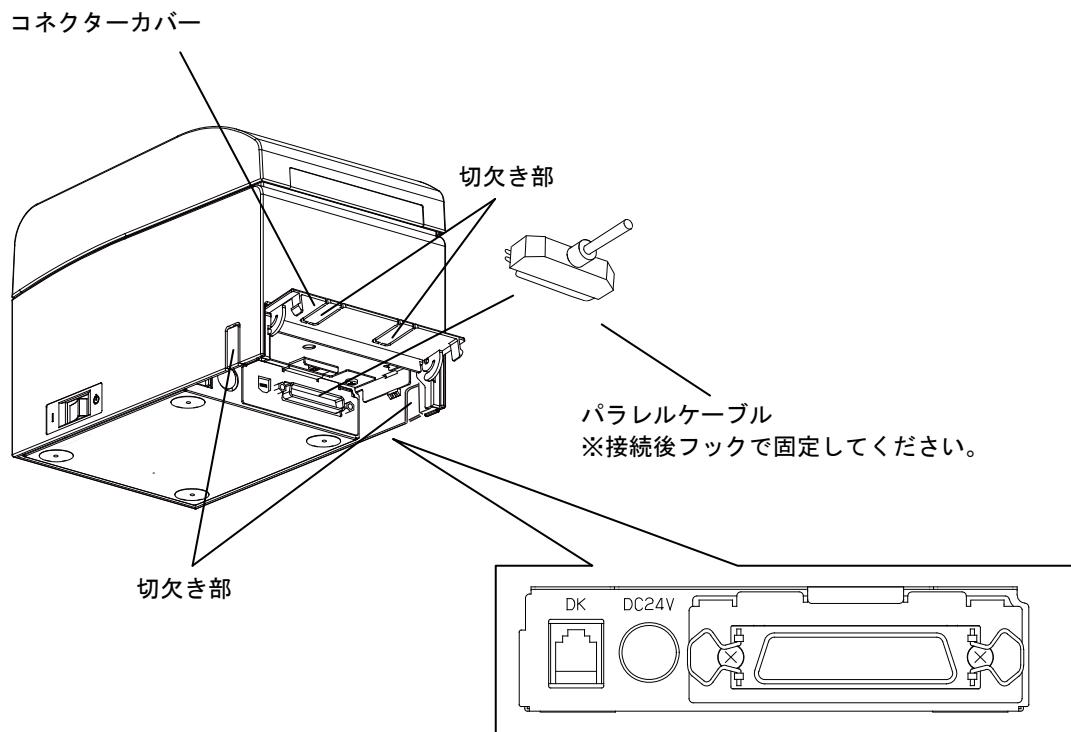
切欠き部



パラレルケーブルで接続する



パラレルケーブルはプリンターに添付されていません。ご購入については「オプション」(10 ページ)を参照して、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口までお問い合わせください。



9 ソフトウェアをインストールする

コンピューターから印刷する場合は、コンピューターにプリンタードライバーをインストールしてください。
プリンタードライバーは添付のソフトウェア CD-ROM に収録されています。

添付のソフトウェア CD-ROM には、プリンタードライバーの他に Windows の画面上からプリンターの各種設定や調整を行える「リモートパネル」、プリンターの状態監視を行う「ステータスマニタ」などが収録されています。
インストール方法や使用方法などそれぞれの詳しい説明については、プリンターソフトウェア CD-ROM に収められているソフトウェアマニュアルを参照してください。

10 ネットワークの設定をする

LAN 対応モデルを使用する場合は、IP アドレスなどお使いのネットワーク環境に合った設定が必要です。

ネットワークの設定はプリントサーバーソフトウェア CD-ROM に収められているプリントサーバーソフトウェアマニュアルを参照してください。

2章

用紙の取扱いと印刷

この章では、本プリンターが使用できる用紙と印刷範囲などについて説明します。

使用できる用紙

⚠ 注意

- 推奨紙以外を使用した場合は、サーマルヘッド破損、印刷不良などがおこる場合があります。
- ラベルや厚紙は使用環境及び湿度により印刷カスレなどが発生する場合があるため、印刷速度及び印刷濃度を調整し使用してください。
(「メニュー モード」(51 ページ) を参照してください)
特に、用紙搬送初めの用紙上端、用紙搬送終了時の用紙下端にバーコードを印刷する場合は、用紙搬送精度がみだれる場合がありますので注意してください。
- 紙管外径 $\phi 32\text{mm}$ に対応します。
紙管外径 $\phi 32\text{mm}$ 以外のロール紙を使用した場合は、ペーパーニアエンドの検出精度が低下します。
- 紙管外径 $\phi 32\text{mm}$ 未満のロール紙を使用した場合は、紙管近傍の紙をフルカットすると搬送不良が発生する場合があります。
- 用紙の使い終わり時に紙管から用紙が確実に外れるように、紙管と用紙は固定しないか、または 150g 以下の力で外れるテープ止めとしてください。

本プリンターは、以下の感熱用紙に対応しています。

- a. タグ紙
- b. 黒マーク紙
- c. ラベル紙

— ✓ チェック —

- タグ紙とは、予めラベル紙がカットされておらず、カッターで任意の長さにカットして使用できる用紙です。
 - 黒マーク紙とは印刷裏面に頭出し位置を決める黒マークが印刷されている用紙です。
 - ラベル紙とは、予めラベルが使用するサイズにカットされている用紙です。
-

本プリンターは、黒マーク紙及びラベル紙では、プリンタードライバーの用紙レイアウト設定に基づき、頭出し位置、カット位置、ハクリ位置、手切り位置への移動ができます。

この機能を使うためには、ご使用になる前に印刷される用紙の種類とサイズ等の用紙レイアウト情報をプリンタードライバーで予め設定する必要があります。設定せずに使用すると、用紙レイアウトエラーが発生したり、目的の印刷結果とならない場合があります。

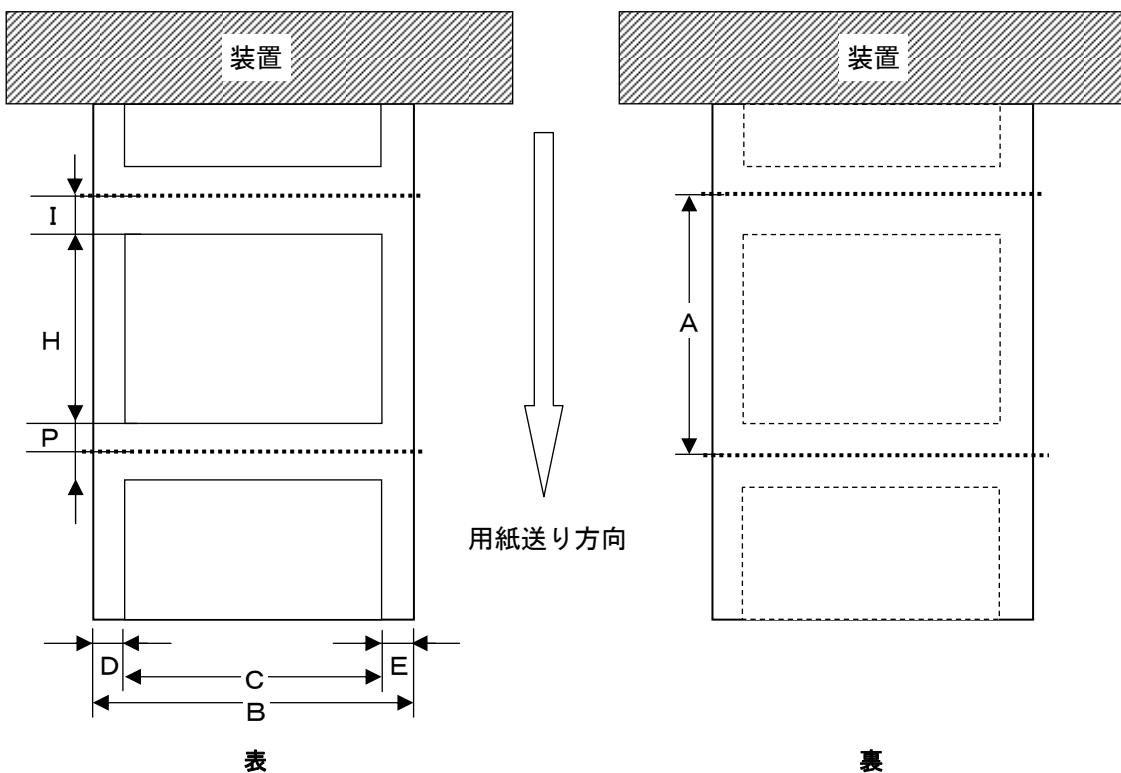
以下の場合は、プリンタードライバーで用紙を選択してから、ご使用ください。

- (1) はじめてラベル紙を使用する場合
- (2) 用紙の種類（タグ紙、黒マーク紙、ラベル紙）を変更する場合
- (3) 異なる用紙サイズの用紙に変更する場合

プリンタードライバーによるユーザー定義用紙作成の方法については、添付のソフトウェア CD-ROM に収められているソフトウェアマニュアルの「ユーザー定義用紙を登録する」を参照してください。

印刷可能範囲／用紙サイズ

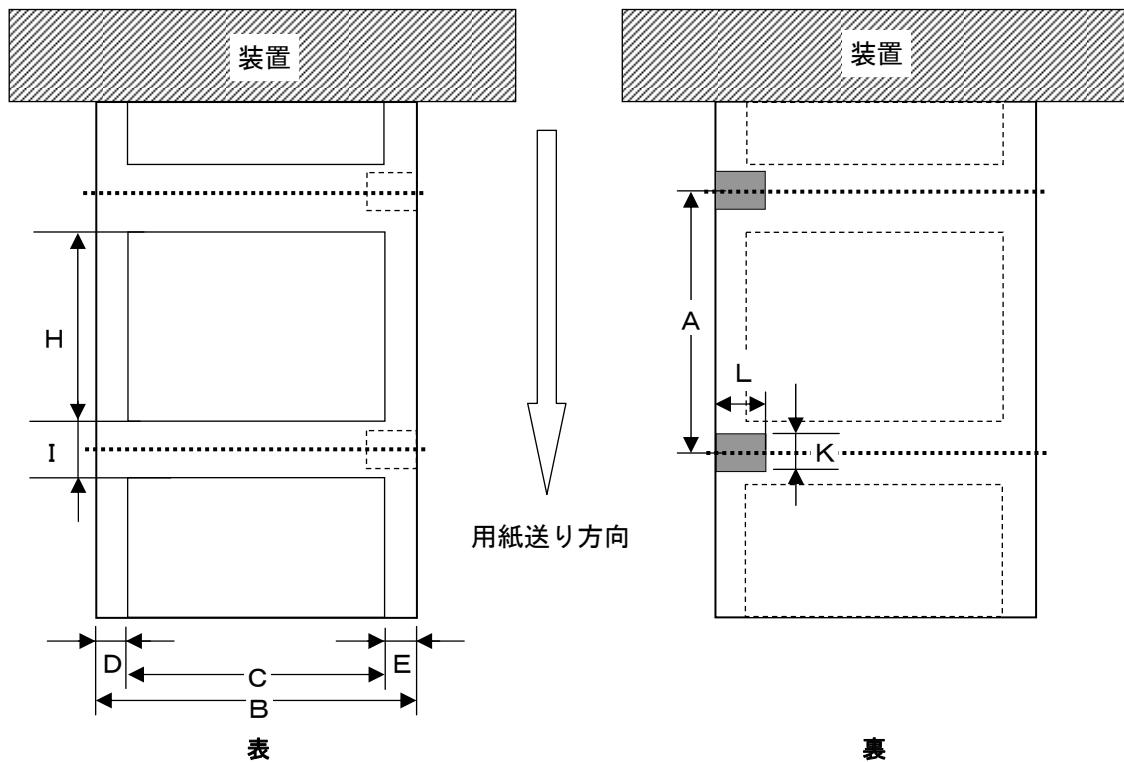
タグ紙



符号	項目	仕様
A	用紙ピッチ	15~2039.9mm
B	タグ幅	25.4~70、80、83mm
C	最大印刷幅	80mm ※
D	左端余白	0mm 以上
E	右端余白	1mm 以上
H	有効印刷長	15~2039.9mm
I	上余白	1.5、11.5mm
P	下余白	1.5mm
—	用紙厚さ	60~150 μm
—	最大ロール径	ϕ 102mm
—	ラベル巻き	外巻き
—	ファンフォールド紙 折りたたみ長さ	76.2~203.2mm

※最大印刷範囲は、右端 1mm の位置から 80mm です。右端から 81mm を越えた部分は印刷できません。用紙幅 83mm で右端余白を 1mm とした場合、左端 2mm は印刷できません。

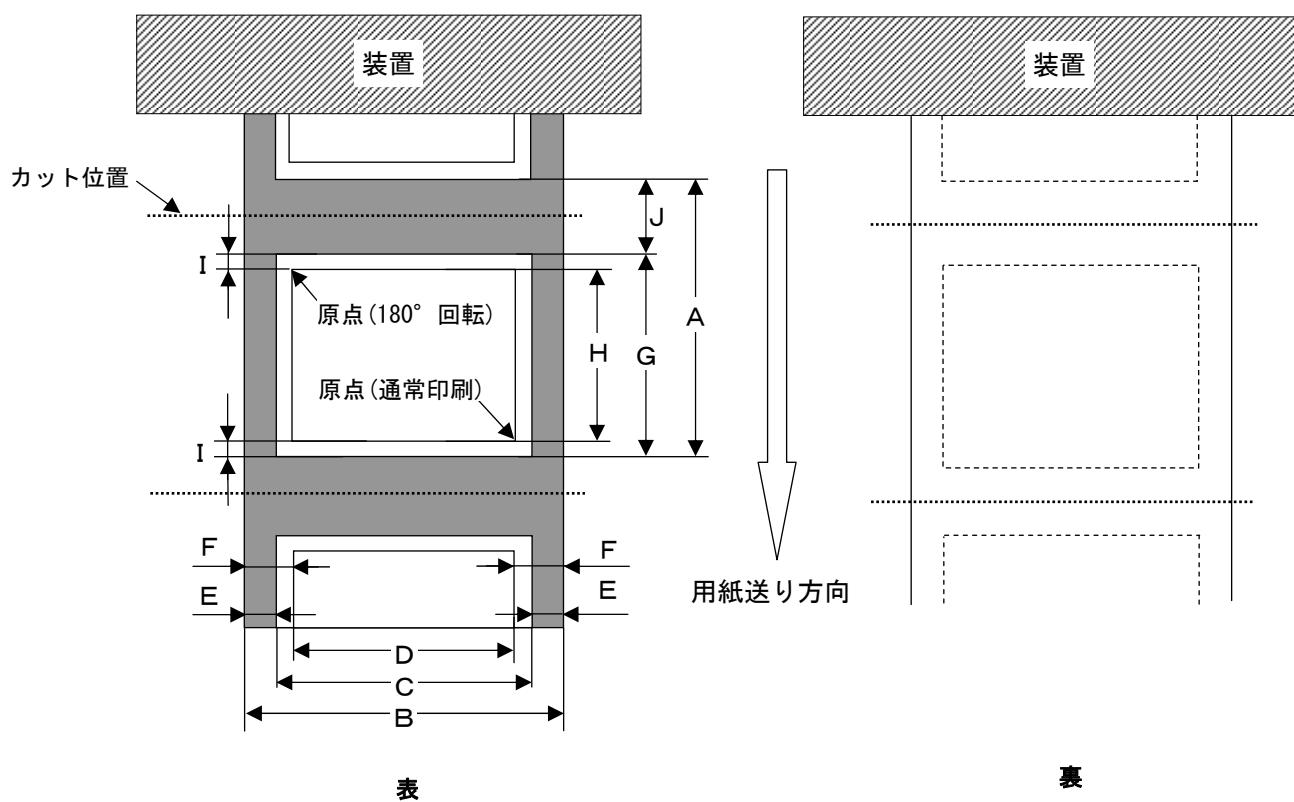
黒マーク紙(タグ紙)



符号	項目	仕様
A	用紙ピッチ	15~300mm
B	タグ幅	25.4~70、80、83mm
C	最大印刷幅	80mm ※
D	左端余白	0mm 以上
E	右端余白	1mm 以上
K	黒マーク長	5~5.5mm
L	黒マーク幅	10~12mm
H	有効印刷長	12~297mm
I	上下余白	1.5mm 以上
—	用紙厚さ	60~150 μm
—	最大ロール径	ϕ 102mm
—	ラベル巻き	外巻き
—	ファンフォールド紙 折りたたみ長さ	76.2~203.2mm

※最大印刷範囲は、右端1mmの位置から80mmです。右端から81mmを越えた部分は印刷できません。用紙幅83mmで右端余白を1mmとした場合、左端2mmは印刷できません。

ラベル紙



表

裏

符号	項目	仕様
A	用紙ピッチ	18~130mm
B	ラベル台紙幅	25.4~70、80、83mm
C	ラベル幅	23.4~81mm
D	印刷幅	23.4~80mm ※
E	台紙端-ラベル間距離	1mm 以上
F	台紙端-印刷位置間距離	1mm 以上
G	ラベル長	15~127mm
H	有効印刷長	12~124mm
I	上下余白	1.5mm 以上
J	ラベル間ギャップ	3~10mm
—	用紙厚さ	60~150 μm
—	最大ロール径	$\phi 102\text{mm}$
—	ラベル巻き	外巻き
—	ファンフォールド紙 折りたたみ長さ	76.2~203.2mm

※左右寸法は異なっていても構いません。

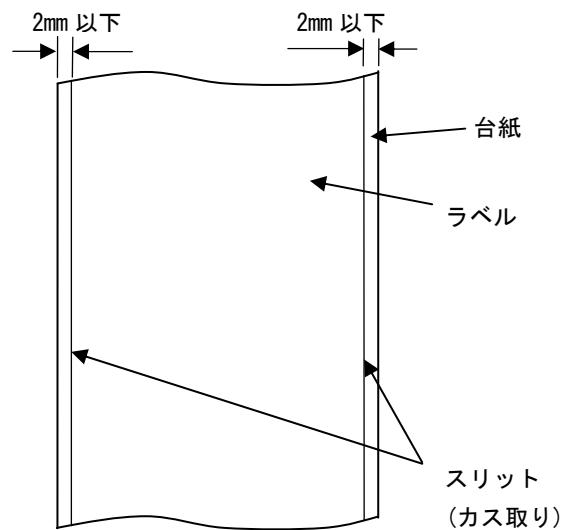
用紙に関する注意

全面ラベル紙

印刷ヘッド及び用紙ガイドへの粘着剤の付着を防止するため、下記条件に従ってカス取りしたラベル紙をご使用ください。

(カス取りとは、製造時にあらかじめ端のラベルをカットして取り除いておくことです。)

用紙表面の両側スリット（カス取り）

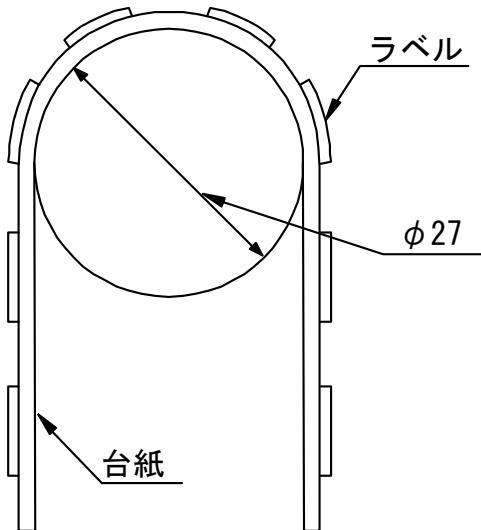


ラベル粘着力に関する注意

直径 27mm の円筒にラベルを表にして 180° 巻き付けて 24 時間放置したとき、ラベルが台紙からめくれたり、はがれたりしない用紙を使用してください。

円筒に巻き付けるラベルと台紙の両端に約 30gf ずつのおもりを取り付けて、用紙が張るようにして放置してください。

一般に粘着剤は温度が低いほど粘着力が低下しますので、実際にプリンターをご使用の環境で最も低い温度で確認してください。



<条件>

巻付円筒直径 : $\phi 27\text{mm}$

巻付角度 : 180°

巻付時間 : 24 時間

おもり : 両端に約 30gf

紙管に関する注意

ラベル紙、黒マーク紙（ラベル）は以下の紙管を用いた用紙を使用してください。

内径 : $\phi 25.4\text{mm}$ 以上

外径 : $\phi 32\text{mm}$ 以上

タグ紙、黒マーク紙（タグ紙）は以下の紙管を用いた用紙を使用してください。

用紙厚さ : $60 \sim 150\ \mu\text{m}$

内径（A）: $\phi 25.4\text{mm}$

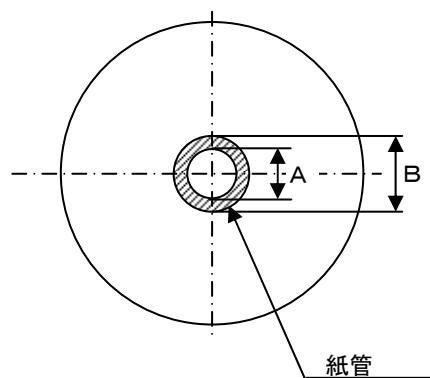
外径（B）: $\phi 32\text{mm}$

用紙厚さ : $60 \sim 90\ \mu\text{m}$

内径（A）: $\phi 12\text{mm}$

外径（B）: $\phi 18\text{mm}$ ※

※ペーパーニアエンド検出機能は使用できません。



用紙の交換について

新しい用紙に交換する場合には、以下の手順にて行ってください。

- ① 電源がONのままトップカバーを開けます。
- ② お使いになる用紙をプリンターにセットします。
- ③ トップカバーを閉じます。
- ④ プリンタードライバーでセットした用紙に合った用紙設定を選択します。



- 最初の印刷のときに頭出し動作を行ってから、印刷します。
 - 用紙が変更された場合は、用紙の種類に合せてプリンタードライバーの用紙の設定を変更してください。
 - 用紙のレイアウトが変更された最初の印刷時に、数10cm用紙をフィードしますが、センサーの調整を行う動作であり、異常動作ではありません。
-

用紙レイアウトエラーについて

黒マーク紙、ラベル紙の場合には、プリンターはプリンタードライバーに設定されている用紙レイアウトにしたがって用紙長を監視しています。設定された用紙長とプリンターが検出した用紙長が一致しない場合には、用紙レイアウトエラーとなります。

⚠ 注意

- 設定された用紙長に対し、セットした用紙の用紙長が±5%を超える用紙である場合には、用紙レイアウトエラーとなります。
- 黒マーク紙（ラベル）の用紙に印刷する場合、印刷位置やカット位置に十分に注意して使用してください。ラベルのない台紙部分へ印刷を行うとサーマルヘッドが損傷する場合があります。

(1) 用紙補給直後の印刷で用紙レイアウトエラーが発生した場合

用紙のサイズを確認し、プリンタードライバーの用紙レイアウトを設定してください。

(2) 印刷をしている途中で用紙レイアウトエラーが発生した場合

印刷時にレイアウトエラーが発生した場合には、トップカバーを開けてラベルのはがれや用紙詰まり等が発生していないかを確認して、用紙を再セットしてトップカバーを閉じてください。

(3) 用紙入れ替え直後の印刷で用紙レイアウトエラーが発生した場合

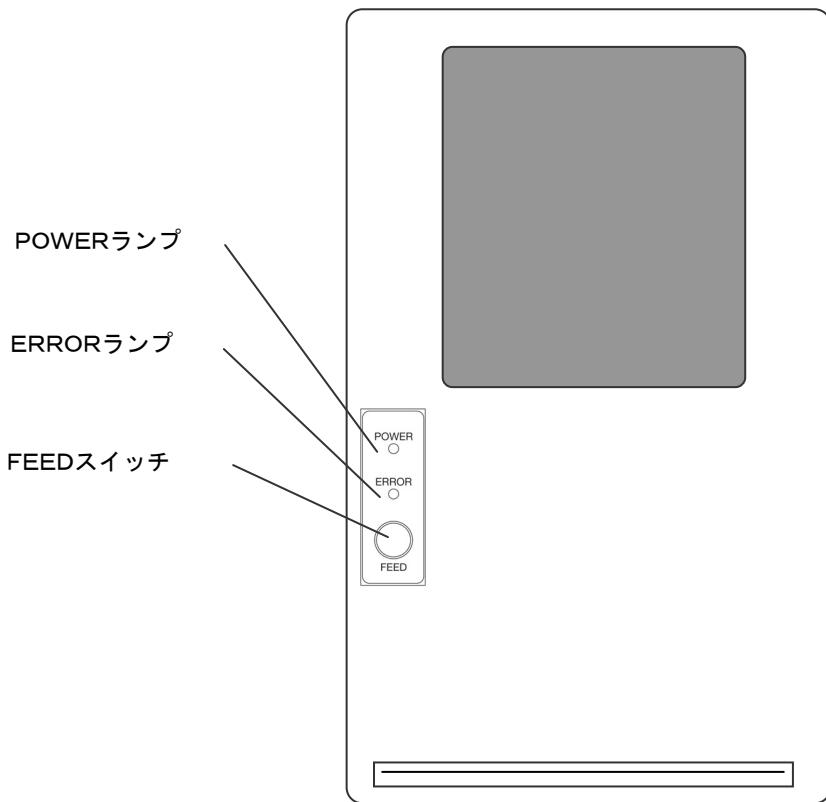
「用紙の交換について」(47 ページ)の手順に従って行ってください。

3章

操作部とプリンターの

設定

この章では、操作部とプリンターの設定について説明しています。操作部には1個のスイッチと2個のランプがあります。操作部の上部外観と名称は以下のとおりです。



スイッチ

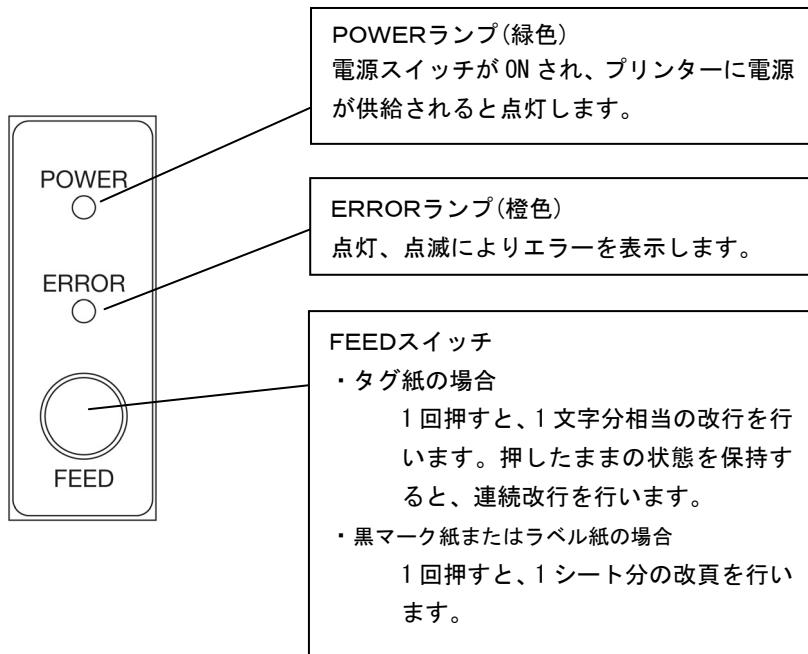
操作部には1個のスイッチがあります。スイッチの機能は下表のとおりです。

名 称	機 能
FEEDスイッチ	<ul style="list-style-type: none">スイッチは押したときに有効になります。タグ紙の場合 1回押すと、1文字分相当の改行を行います。押したままの状態を保持すると、連続改行を行います。黒マーク紙またはラベル紙の場合 1回押すと、1シート分の改頁を行います。

ランプ

操作部には2個のランプがあります。これらのランプは点灯、点滅、または消灯することでプリンターの状態を知らせます。

操作パネル



ERROR	点灯	エラー表示がでているときは（72ページ）参照
	点滅	エラー表示がでているときは（72ページ）参照
	消灯	エラーなし
POWER	点灯	電源がON
	点滅	復帰不可能エラー
	消灯	電源がOFF

メニュー モード



メニュー モードを印刷する場合は、Φ50mm 以下のロール紙を使用することを推奨します。

メニュー モードでは、プリンターの操作パネル上のスイッチを使ってプリンターのさまざまな設定を変更することができます。

メニュー モードで変更した設定内容はプリンターの電源を OFF にしても変わりません。

メニュー モードの操作方法

本説明はパソコンを使用せず、プリンター単体で内部設定の変更を行う方法について説明します。

また本プリンターを Windows パソコンに接続して使用する場合は、添付ソフトウェア CD-ROM に収められているリモートパネルを使用すると簡単に設定の変更が出来ます。

リモートパネルのインストールと起動については、ソフトウェアマニュアルの「リモートパネル」を参照してください。

詳細な機能およびご使用方法については、ソフトウェアマニュアルを参照してください。

FEEDスイッチの操作だけで設定項目、設定内容を変更できます。

FEEDスイッチを押している時間で動作が決定します。

項目の選択：FEEDスイッチを短く（1秒以内）押します。

項目の決定：FEEDスイッチを長く（1秒以上）押します。

本書では、代表的な以下の設定変更方法について詳細を説明しています。

設定例① 印刷濃度、電源投入後の頭出し、ペーパーニアエンド検出の設定を変更する。

設定例② プリンターの設定を初期化する。

設定例① 印刷濃度、電源投入後の頭出し、ペーパニアエンド検出の設定を変更する。

- ・印刷濃度を「130%」から「100%」に変更する
- ・電源投入後の頭出しを「実行しない」から「実行する」に変更する
- ・ペーパニアエンド検出を「無効」から「有効」に変更する

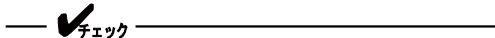
設定は以下の手順で行います。

① 設定を開始する前にプリンターの状態を確認します。

- (1) 電源が OFF 状態であること。
- (2) 用紙がセットされていること。
- (3) カバーが閉まっていること。

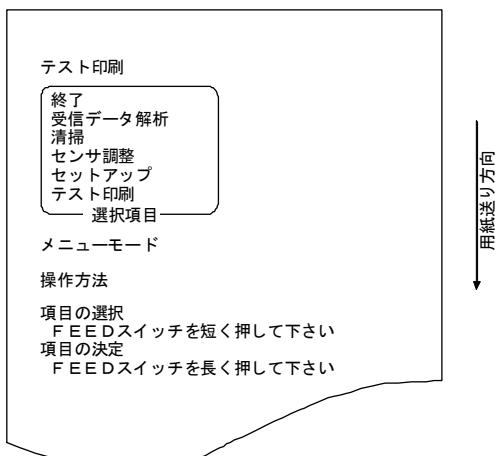
② メニューモードに入ります。

トップカバーの左側にあるFEEDスイッチを押しながら右側面にある電源スイッチを ON にします。



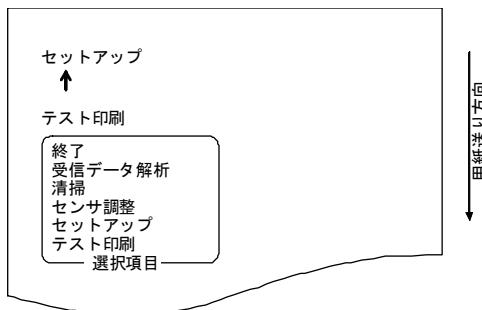
- ・プリンターの印刷が開始するまで FEEDスイッチを押し続けてください。
- ・設定したい項目が行き過ぎてしまった場合は、FEEDスイッチを繰返し短く押すことで項目の初めに戻ります。

メニューモードに入ると以下の印刷を行います。



③ 「セットアップ」を選択します。

FEEDスイッチを短く1回押して、「セットアップ」を選択します。



④ FEEDスイッチを長く押して決定します。

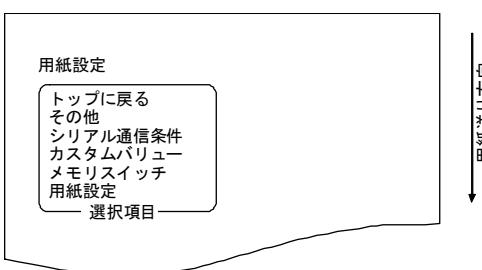
このとき、以下の印刷を行います。



⑤ 「設定」を選択します。

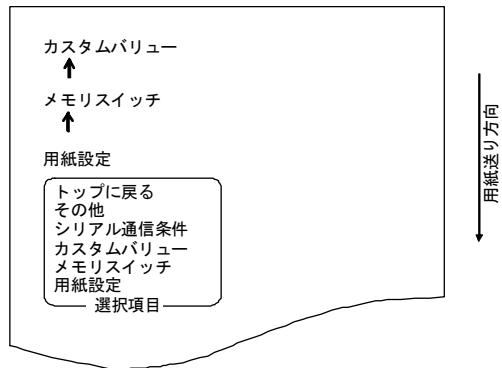
このまま、FEEDスイッチを長く押して決定します。

このとき、以下の印刷を行います。



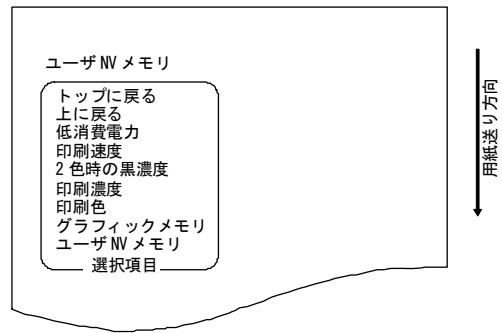
⑥ 「カスタムバリュー」を選択します。

FEEDスイッチを短く2回押して、「カスタムバリュー」を選択します。



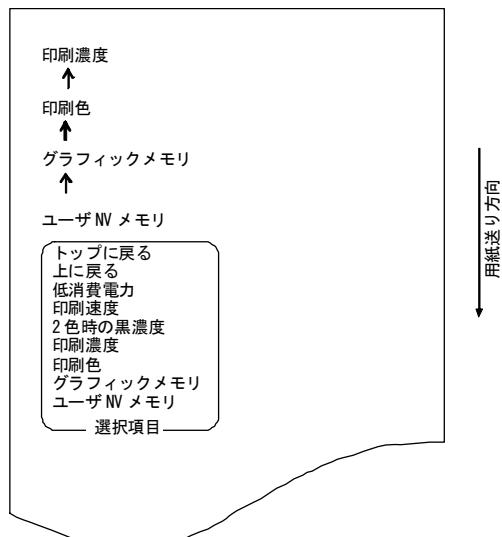
⑦ FEEDスイッチを長く押して決定します。

このとき、以下の印刷を行います。



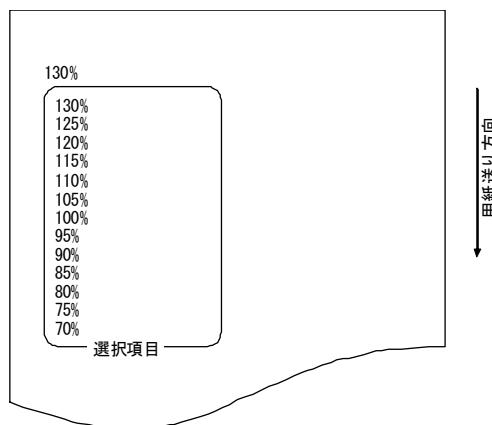
⑧ 「印刷濃度」を選択します。

FEEDスイッチを短く3回押して、「印刷濃度」を選択します。



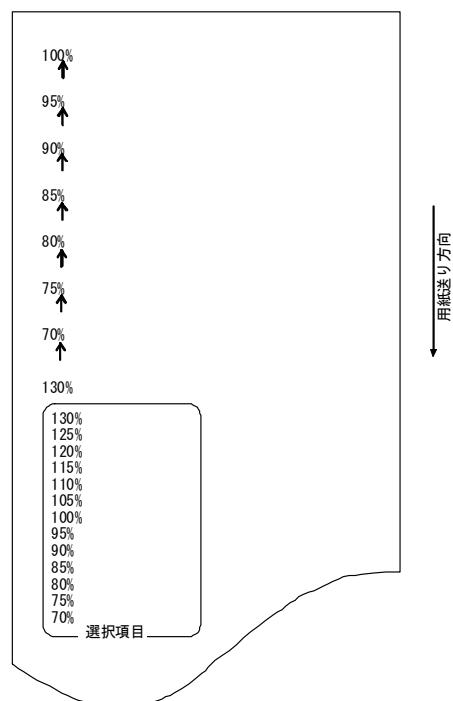
⑨ FEEDスイッチを長く押して決定します。

このとき、以下の印刷を行います。



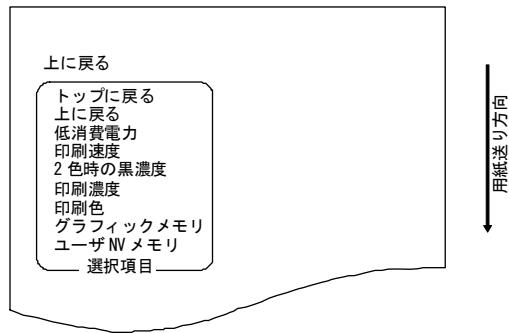
⑩ 「100%」を選択します。

FEEDスイッチを短く7回押して、「100%」を選択します。



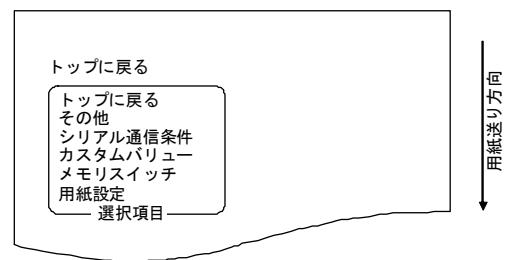
⑪ FEEDスイッチを長く押して決定します。

これで、印刷濃度の変更は終わりました。
このとき、以下の印刷を行います。



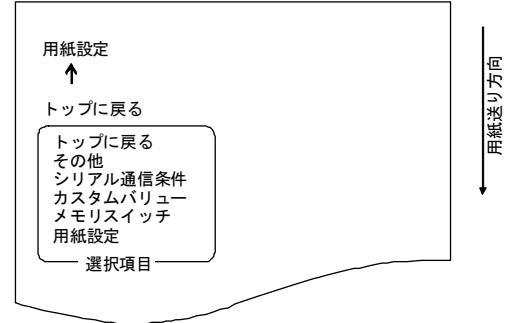
⑫ 「上に戻る」を選択します。

このまま、FEEDスイッチを長く押して決定します。
このとき、以下の印刷を行います。



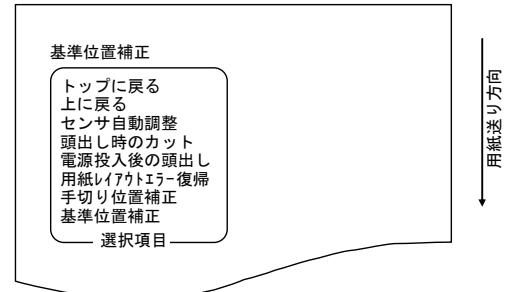
⑬ 「用紙設定」を選択します。

FEEDスイッチを短く1回押して「用紙設定」を選択します。



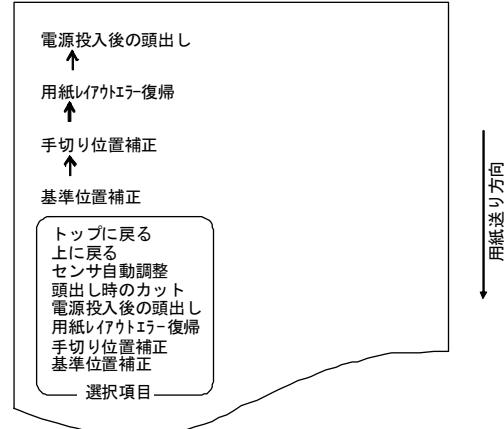
⑭ FEEDスイッチを長く押して決定します。

このとき、以下の印刷を行います。



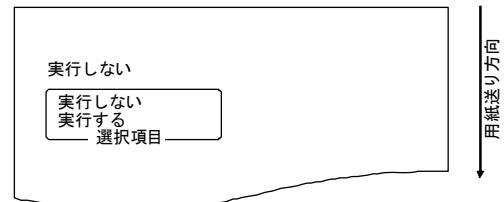
⑮ 「電源投入後の頭出し」を選択します。

FEEDスイッチを短く3回押し、「電源投入後の頭出し」を選択します。



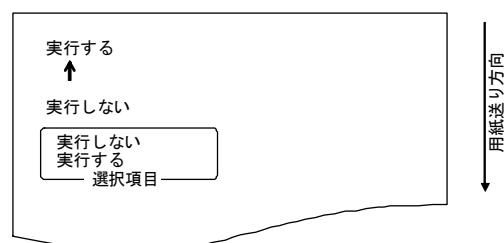
⑯ FEEDスイッチを長く押して決定します。

このとき、以下の印刷を行います。



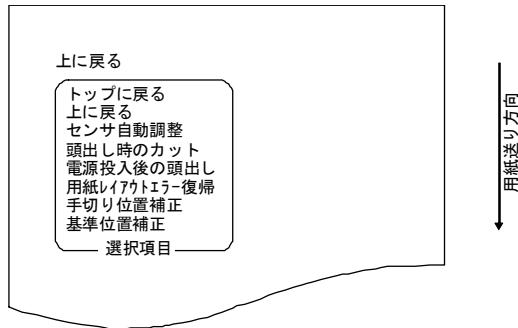
⑰ 「実行する」を選択します。

FEEDスイッチを短く押して、「実行する」を選択します。



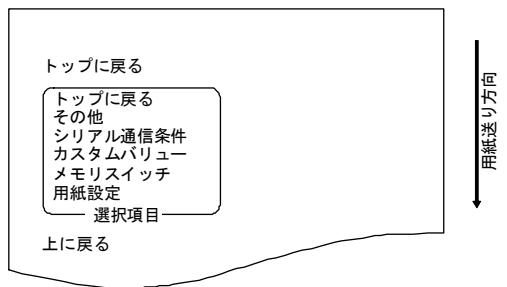
⑯ FEEDスイッチを長く押して決定します。

これで、電源投入後の頭出しの変更は終わりました。
このとき、以下の印刷を行います。



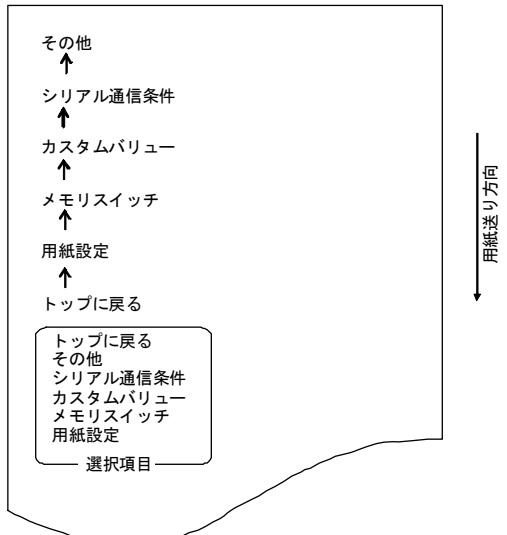
⑰ 「上に戻る」を選択します。

FEEDスイッチを長く押して決定します。
このとき、以下の印刷を行います。



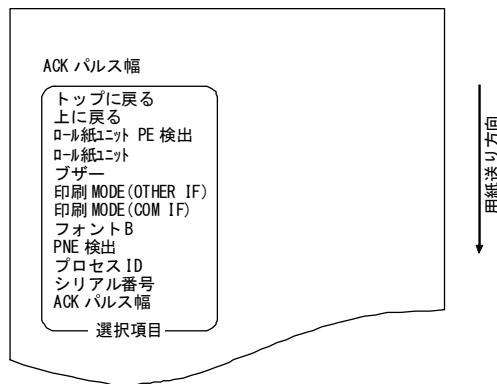
⑱ 「その他」を選択します。

FEEDスイッチを短く3回押し、「その他」の項目まで移動します。



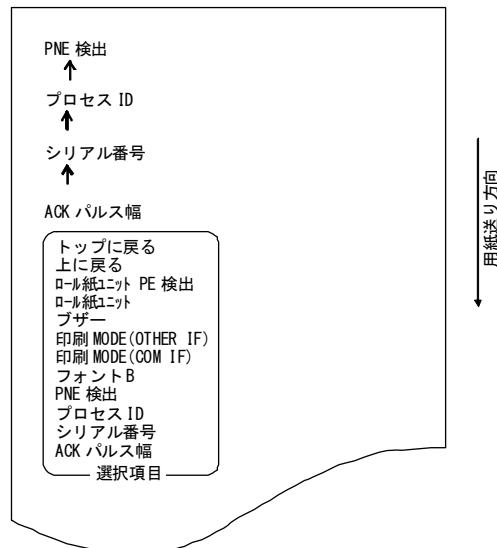
㉑ FEEDスイッチを長く押して決定します。

このとき、以下の印刷を行います。



㉒ 「PNE 検出」を選択します。

FEEDスイッチを短く3回押し、「PNE 検出」を選択します。



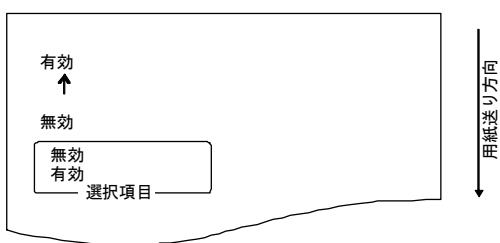
㉓ FEEDスイッチを長く押して決定します。

このとき、以下の印刷を行います。



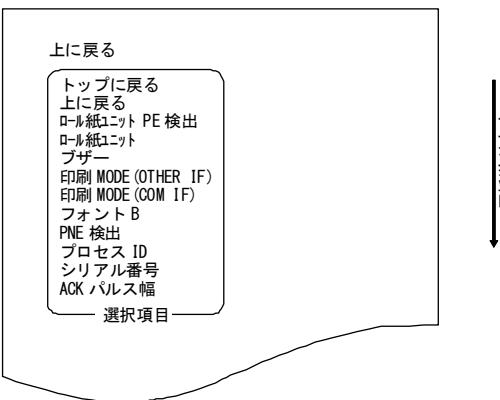
㉔ 「有効」を選択します。

FEEDスイッチを短く押して、「有効」を選択します。



㉕ FEEDスイッチを長く押して決定します。

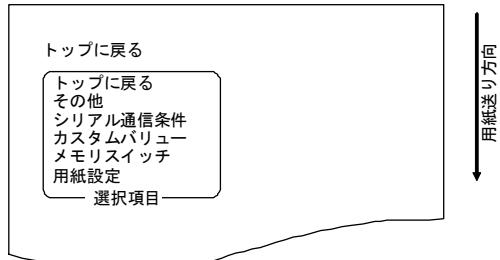
このとき、以下の印刷を行います。



㉖ 「上に戻る」を選択します。

FEEDスイッチを長く押して決定します。

このとき、以下の印刷を行います。



㉗ 「トップに戻る」を選択します。

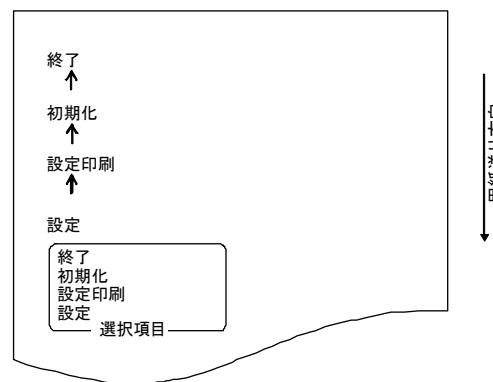
FEEDスイッチを長く押して決定します。

このとき、以下の印刷を行います。



㉘ 「終了」を選択します。

FEEDスイッチを短く3回押して、「終了」を選択します。



㉙ FEEDスイッチを長く押して決定します。

「終了」選択後に用紙のカットを行いメニュー画面が終了します。



「終了」を選択せずにプリンターの電源スイッチをOFFにした場合、設定は記録されません。

●設定の確認方法

設定の確認は1章の「7 テスト印刷をする」(33ページ)を参照しテスト印刷を行います。

テスト印刷では、プリンターの設定一覧印刷を行いますので、設定一覧にて設定内容の確認を行います。

設定例② プリンターの設定を初期化する。

初期化について

メニュー mode で設定した項目および用紙レイアウト情報を工場出荷時の値にします。
ただし、センサー調整値は保持され初期化されません。

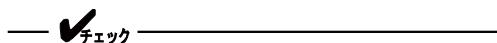
初期化は以下の手順で行います。

① 設定を開始する前にプリンターの状態を確認します。

- (1) 電源が OFF 状態であること。
- (2) 用紙がセットされていること。
- (3) カバーが閉まっていること。

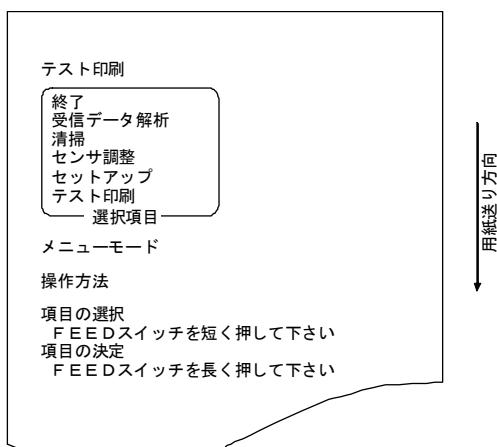
② メニュー mode に入ります。

トップカバーの左側にある FEED スイッチを押しながら右側面にある電源スイッチを ON にします。



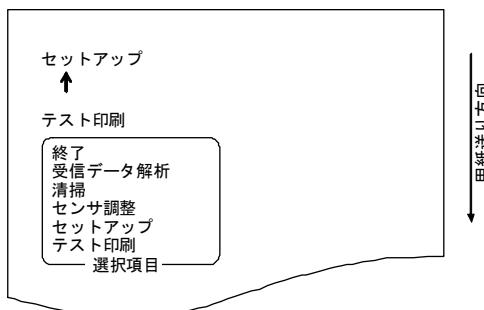
- プリンターの印刷が開始するまで FEED スイッチを押し続けてください。
- 設定したい項目が行き過ぎてしまった場合は、FEED スイッチを繰り返し短く押すことで項目の初めに戻ります。

メニュー mode に入ると以下の印刷を行います。



③ 「セットアップ」を選択します。

FEEDスイッチを 1 回短く押して、「セットアップ」を選択します。



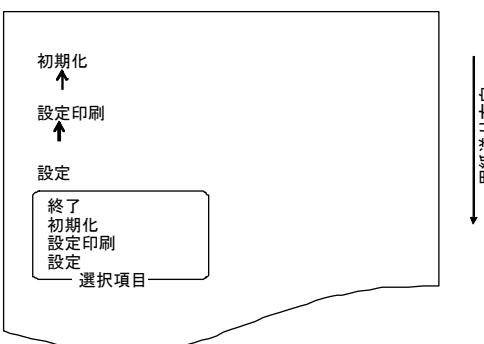
④ FEEDスイッチを長く押して決定します。

このとき、以下の印刷を行います。



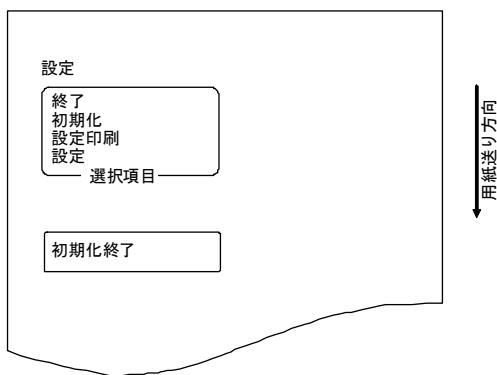
⑤ 「初期化」を選択します。

FEEDスイッチを短く 2 回押して、「初期化」を選択します。



⑥ FEEDスイッチを長く押して決定します。

初期化が終了すると、以下の印刷を行います。



⑦ プリンターの電源を OFF にします。

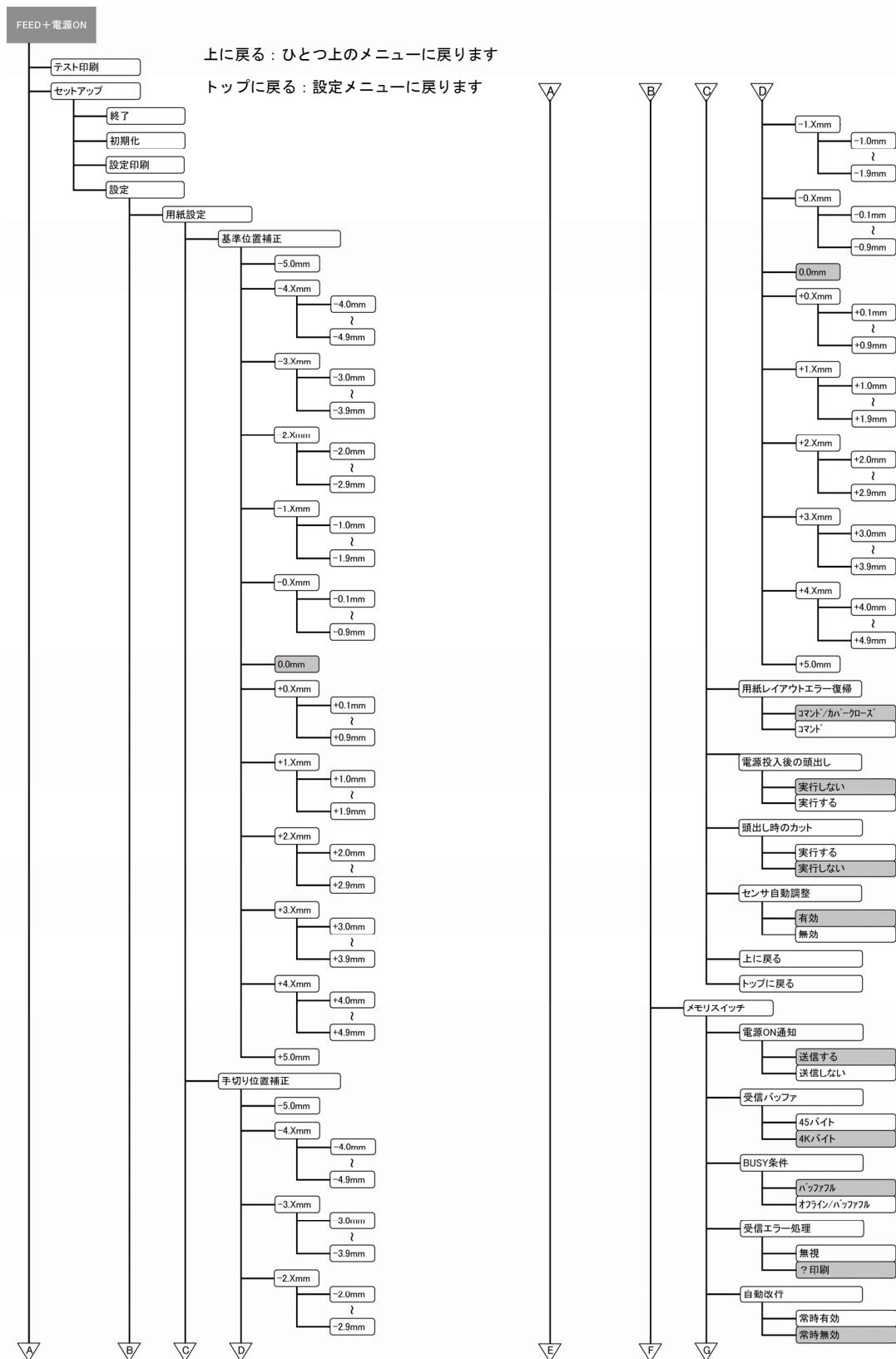
●設定の確認方法

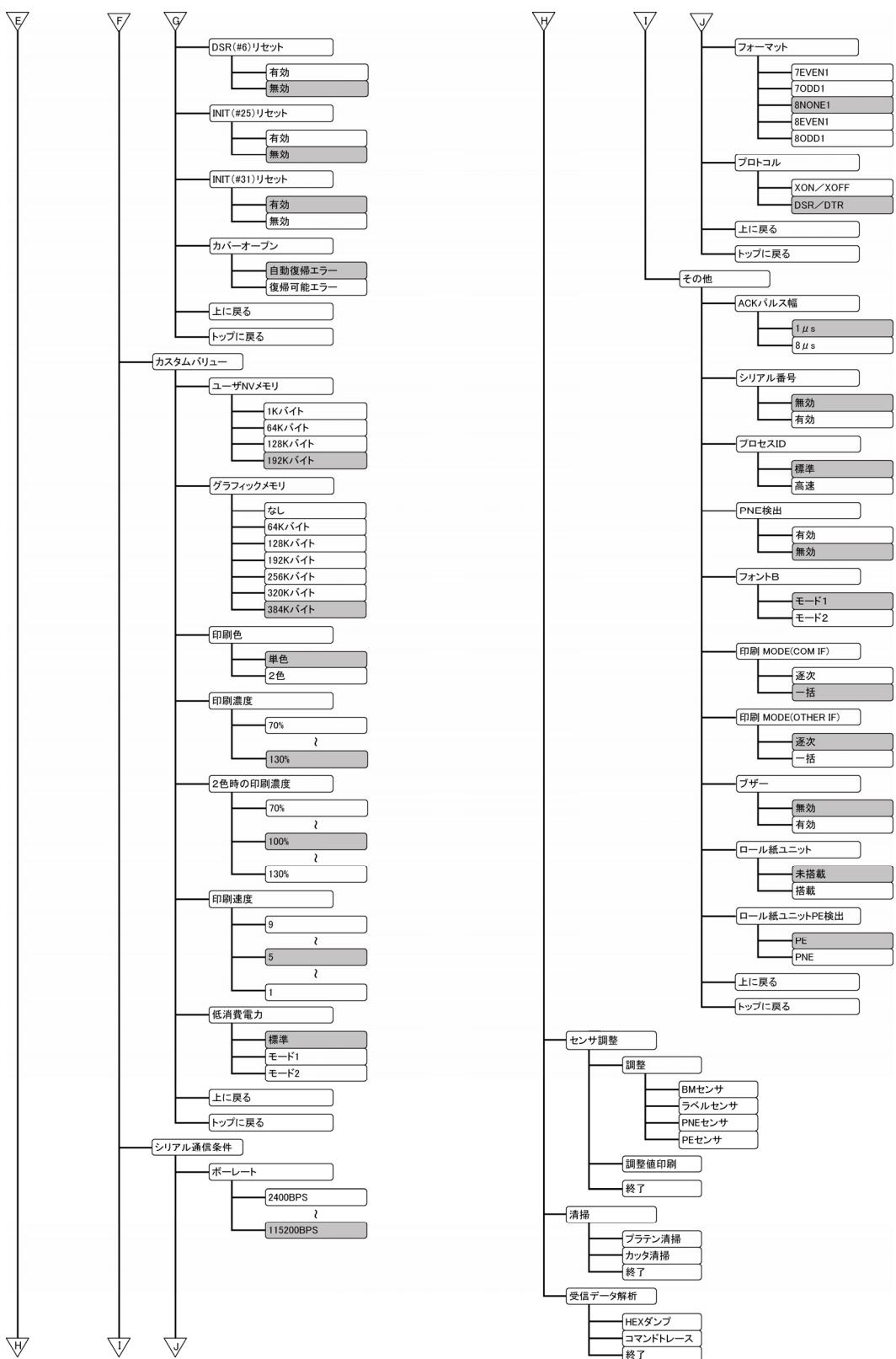
設定の確認は1章の「7 テスト印刷をする」(33ページ)を参照しテスト印刷を行います。

テスト印刷では、プリンターの設定一覧印刷を行いますので、設定一覧にて設定内容の確認を行います。

メニューツリー

メニュー モードを図式的に表したメニュー ツリーを示します (グレー部分は出荷時の設定値です)。





メニュー モードの機能

ラベルモデル メニュー構成(詳細設定項目の太字は出荷時の設定です)

メニュー名	機能	詳細設定項目	
テスト印刷	ファームウェアナンバーや用紙設定、メモリスイッチなどの設定内容を印刷します。	—	—
終了	設定をフラッシュメモリに記憶します。用紙のカットを行い通常モードに移行します。	—	—
初期化	設定を全て工場出荷時の値にします。ただし、用紙幅設定は初期化されません。	—	—
基準位置補正	頭出し位置、カット位置、ハクリ位置を一律補正します。 指定した値だけ上下方向に移動します。	-5.0mm	
		-4. Xmm	-4.0mm ~ -4.9mm
		-3. Xmm	-3.0mm ~ -3.9mm
		-2. Xmm	-2.0mm ~ -2.9mm
		-1. Xmm	-1.0mm ~ -1.9mm
		-0. Xmm	-0.1mm ~ -0.9mm
		0.0mm	
		+0. Xmm	+0.1mm ~ +0.9mm
		+1. Xmm	+1.0mm ~ +1.9mm
		+2. Xmm	+2.0mm ~ +2.9mm
		+3. Xmm	+3.0mm ~ +3.9mm
		+4. Xmm	+4.0mm ~ +4.9mm
		+5.0mm	
手切り位置補正	手切り位置を補正します。指定した値だけ上下方向に移動します。	-5.0mm	
		-4. Xmm	-4.0mm ~ -4.9mm
		-3. Xmm	-3.0mm ~ -3.9mm
		-2. Xmm	-2.0mm ~ -2.9mm
		-1. Xmm	-1.0mm ~ -1.9mm
		0.0mm	
		+1. Xmm	+1.0mm ~ +1.9mm
		+2. Xmm	+2.0mm ~ +2.9mm
		+3. Xmm	+3.0mm ~ +3.9mm
		+4. Xmm	+4.0mm ~ +4.9mm
		+5.0mm	
用紙レイアウトエラー復帰	用紙レイアウトエラーの復帰条件を指定します。 「コマンド」設定とした場合、用紙レイアウトエラー発生時、受信バッファフル等によりコマンド送信できない場合があるため、「コマンド／カバークローズ」設定での使用を推奨します。	コマンド／カバークローズ コマンド	
電源投入後の頭出し	電源投入後に頭出しを行うか指定します。 「実行しない」設定としたとき、現在の位置を頭出し位置として認識するので、頭出し位置で停止していない場合、印刷位置ずれや、用紙レイアウトエラーを検出する場合があります。電源投入後の用紙送りを節約したい場合に使用します。	実行する 実行しない	
頭出し時のカット	頭出し時のカットを行うか指定します。 「実行する」設定としたとき、電源投入時・リセット時・カバークローズ時・F E E Dスイッチ押下による頭出し時にカットを行います。コマンドによる頭出し時にはカットを行いません。	実行する 実行しない	
センサ自動調整	用紙レイアウト変更時、ラベルセンサー及び黒マークセンサーの自動調整を行うか指定します。	有効 無効	
電源 ON 通知	電源 ON 通知の指定をします。	送信する 送信しない	
受信バッファ	受信バッファサイズを指定します。	45 バイト 4K バイト	
BUSY 条件	プリンターBUSY（データ受信不可）条件を指定します。	バッファフル オフライン／バッファフル	
受信エラー処理	受信エラーが発生したときの処理を指定します。 (RS-232C インターフェースのみ有効)	無視 ？印刷	
自動改行	CR コードによる自動改行の指定をします。 (パラレル/USB インターフェースのみ有効)	常時有効 常時無効	

メニュー名	機能	詳細設定項目
DSR (#6) リセット	DSR (#6) 信号によるハードウェアリセットの「有効」/「無効」を指定します。 (RS-232C インターフェースのみ有効)	有効 無効
INIT(#25) リセット	INIT(#25) 信号によるハードウェアリセットの「有効」/「無効」を指定します。 (RS-232C インターフェースのみ有効)	有効 無効
INIT(#31) リセット	INIT(#31) 信号によるハードウェアリセットの「有効」/「無効」を指定します。 (パラレルインターフェースのみ有効)	有効 無効
カバーオープン	印刷中のカバーオープンエラーの復帰方法を指定します。	自動復帰エラー 復帰可能エラー
ユーザーNV メモリ	ユーザーが任意のデータを保持する領域のサイズを指定します。	1K バイト 64K バイト 128K バイト 192K バイト
グラフィックメモリ	グラフィックイメージまたは NV ビットイメージの登録領域のサイズを指定します。	なし 64K バイト 128K バイト 192K バイト 256K バイト 320K バイト 384K バイト
印刷色	印刷色を指定します。 本設定を「2色」に指定しないと色指定コマンドは無効となります。	単色 2色
印刷濃度	印刷濃度を指定します。2色印刷の場合、黒以外（赤または青）の濃度指定となります。 本設定を変更すると、2色時の黒濃度も変わりますので、再調整が必要なときは、[2色時の黒濃度]で設定を変更してください。	70% 75% 80% 85% 90% 95% 100% 105% 110% 115% 120% 125% 130% ※ 70%は薄い、 130%は濃い
2色時の黒濃度	黒の濃度を指定します。 ([印刷色]で「2色」を設定した場合のみ有効)	70% 75% 80% 85% 90% 95% 100% 105% 110% 115% 120% 125% 130% ※ 70%は薄い、 130%は濃い
印刷速度	最大の印刷速度を指定します。 「9」が最も高速です。	1:60mm/S 2: 80mm/S 3:100mm/S 4:120mm/S 5:140mm/S 6:160mm/S 7:180mm/S 8:220mm/S 9:260mm/S
低消費電力	消費電力の低減を設定します。 「モード1」、「モード2」を選択すると印刷品質および印刷速度が低下する場合があります。	標準 モード1 モード2
ボーレート	RS-232C インターフェース使用時のボーレートを指定します。	2400BPS 4800BPS 9600BPS 19200BPS 38400BPS 57600BPS 115200BPS
フォーマット	RS-232C インターフェース使用時のデータフォーマットを指定します。	7EVEN1 70DD1 8NONE1 8EVEN1 80DD1
プロトコル	RS-232C インターフェース使用時のパッファ制御プロトコルを指定します。	XON/XOFF DSR/DTR
ACK パルス幅	パラレルインターフェース使用時の ACK パルス幅を指定します。	1 μ s 8 μ s
シリアル番号	USB 時の iSerial Number 通知を指定します。 「無効」を指定すると、「0」を iSerial Number として通知します。「有効」を指定すると、製造シリアル番号を iSerial Number として個別の装置として認識されるようになります。通常は「無効」を指定してください。	無効 有効
プロセス ID	プロセス ID の応答のタイミングを指定します。 「標準」は印刷完了でプロセス ID を応答します。 「高速」はデータ受信の完了でプロセス ID を応答します。	標準 高速
PNE 検出	ペーパーニアエンド検出の有無を指定します。	有効 無効
フォント B	フォント B のモードを指定します。	モード1 モード2

メニュー名	機能	詳細設定項目
印刷 MODE (COM IF)	RS-232C インターフェースにおける一括印刷または逐次印刷を指定します。 「一括印刷」：受信データを一括に印刷します。 (印刷品質優先) 「逐次印刷」：受信データを逐次に印刷します。 (印刷速度優先)	逐次 一括
印刷 MODE (OTHER IF)	USB、パラレル、LAN インターフェースにおける一括印刷または逐次印刷を指定します。 「一括印刷」：受信データを一括に印刷します。 (印刷品質優先) 「逐次印刷」：受信データを逐次に印刷します。 (印刷速度優先)	逐次 一括
ブザー	エラー発生時のブザー鳴動を指定します。 「無効」設定時でもコマンドによる鳴動は有効です。	無効 有効
ロール紙ユニット	ロール紙ユニットの搭載の有無を指定します。 ロール紙ユニットは未サポートのため未搭載のままとしてください。	未搭載 搭載
ロール紙ユニット PE 検出	ロール紙ユニット搭載時の PE（用紙なし）検出の条件を指定します。 ロール紙ユニットは未サポートのため「PE」のままとしてください。	PE PNE
BM センサ	BM センサーの調整を行います。	—
ラベルセンサ	ラベルセンサーの調整を行います。	—
PNE センサ	PNE センサーの調整を行います。	—
PE センサ	PE センサーの調整を行います。	—
調整値印刷	現在の設定内容を全て印刷します。	—
プラテン清掃	プラテンの清掃方法を印刷し、プラテンを回転させながら清掃を行います。 FEEDスイッチでプラテンローラーが30ステップ(3.75mm)回転します。	—
カッタ清掃	カッター清掃方法を印刷し、カッターを上下させながら清掃を行います。 FEEDスイッチでカッターモータが微少駆動します。	—
HEX ダンプ	受信したデータを HEX 形式で印刷します。	—
コマンドトレース	受信したデータを ASCII 形式で印刷します。	—
上に戻る	設定グループ項目の選択モードに戻ります。	—
トップに戻る	セットアップメニュー mode に戻ります。	—

4章

日常の保守

この章では、日常の保守としてプリンターの清掃について説明します。
清掃はプリンターを正しく動作させるために定期的に行うことをお勧めします。

清掃

紙粉やほこり等により、印刷した文字が部分的に出なくなることがあります。これらを予防除去するために、用紙走行部、プラテンローラー、サーマルヘッド表面に付着した紙粉やほこりを取り除いてください。清掃は6カ月に1度を目安に行ってください。なおラベル紙を使用する場合は1カ月に1度を目安に行ってください。

特に、全面ラベル紙のフルカットで使用される場合は用紙ガイド排出部に糊が付着し排出不良をおこす場合があるため、定期的にアルコール系溶剤を使用して用紙ガイド付着の糊を除去してください。



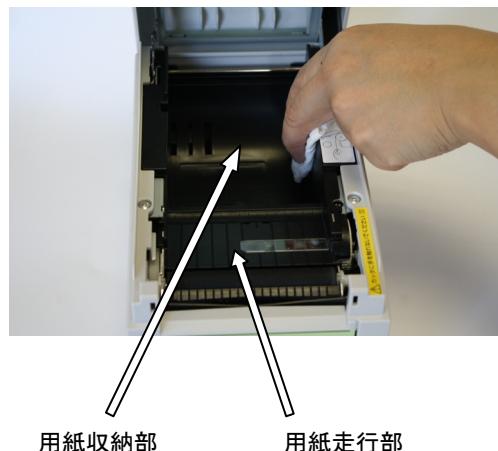
水を直接かけたり、多量に水分を含んだ布で清掃しないでください。内部に水が入ると、火災・感電のおそれがあります。



- 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。電源がON状態で清掃すると、火災・感電の原因となるおそれがあります。
- シンナーやベンジンなどの薬品類で拭かないでください。火災の原因となるおそれがあります。
- トップカバーは後方へ全開にしてください。中途半端な状態にしておくと不意に下がり、けがの原因となるおそれがあります。
- 印刷直後は、サーマルヘッドおよびその周辺部に手を触れないでください。火傷の原因となるおそれがあります。
- 無水エタノールまたはイソプロピルアルコール以外の溶剤は使用しないでください。

用紙収納部、用紙走行部を清掃する

- 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜きます。
- カバーオープンレバーを押しながら上に引き上げてトップカバーを開きます。
- 用紙収納部、用紙走行部に付着したごみ、ほこり、紙粉、糊等をやわらかい布等で拭き取ります。

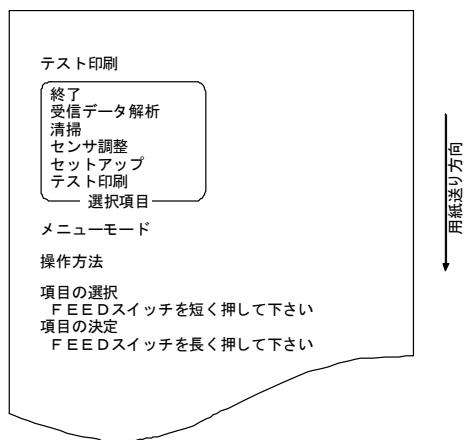


プラテンローラーを清掃する

⚠ 注意

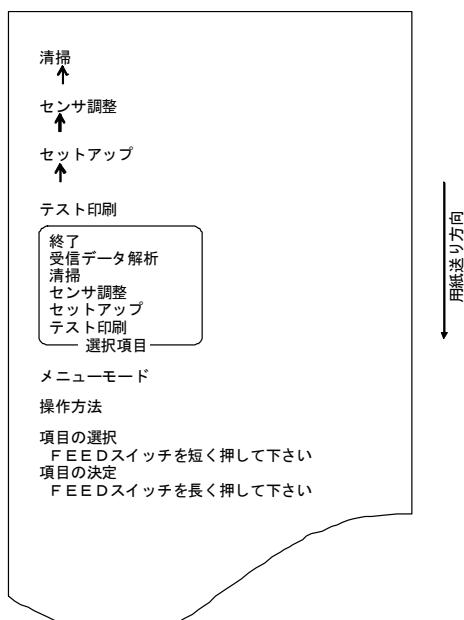
- ・ プラテンローラーに傷・ヘコミを付けないでください。
プラテンローラーにヘコミがあると印刷抜け、改行不良の原因になります。
- ・ FEEDスイッチを12回押すとプラテンが1周します。

① 電源スイッチをOFFにし、用紙をセットした状態で操作パネルのFEEDスイッチを押しながら電源スイッチをONにすると以下の印刷を行います。



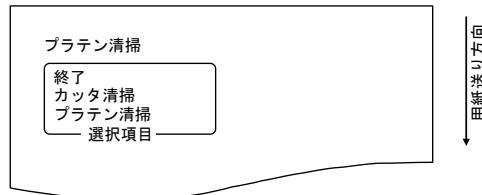
② 項目の選択で、「清掃」を選択します。

FEEDスイッチを短く3回押して、「清掃」の項目まで移動します。



③ FEEDスイッチを長く1回押して決定します。

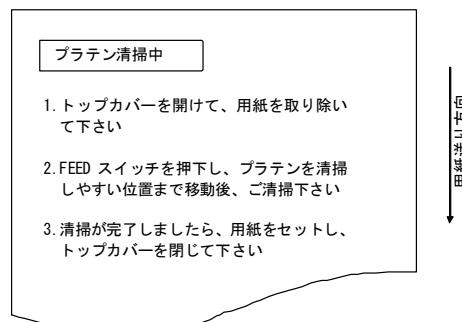
このとき、以下の印刷を行います。



④ FEEDスイッチを長く1回押して決定します。

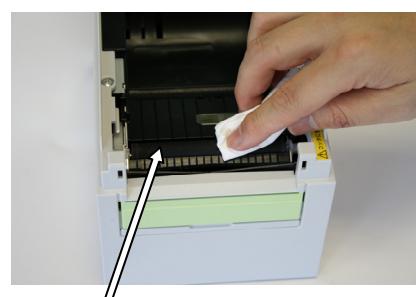
プラテン清掃モードとなります。

このとき、以下の印刷をして用紙をカットします。



⑤ トップカバーを開けて、用紙を取り除きます。

⑥ FEEDスイッチを押して、プラテンを汚れているところまで回転させて、プラテンローラーの表面に付着した紙粉、糊等をやわらかい布で拭き取ります。



プラテンローラー

⑦ 清掃が完了したら、用紙をセットしトップカバーを閉じます。

サーマルヘッドを清掃する

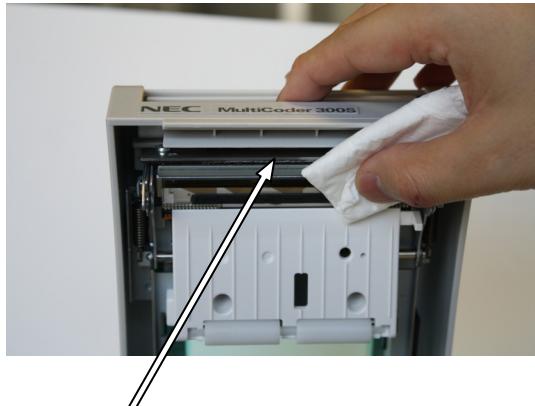
⚠ 注意

- ・ サーマルヘッドは破損しやすい部品です。清掃の際はやわらかい布で、傷をつけないように注意して清掃してください。
- ・ 印刷動作直後はサーマルヘッドが高温になっているため、10分程経ってから清掃を行ってください。
- ・ サーマルヘッドは静電気により破損する場合があるため、静電気には十分注意してください。
- ・ 電源はアルコールが完全に乾いた後で投入してください。
- ・ 無水エタノールまたはイソプロピルアルコール以外の溶剤は使用しないでください。

① プリンターの電源スイッチを一度 OFF にし、電源プラグをコンセントから抜きます。

② カバーオープンレバーを押しながら上に引き上げてトップカバーを開きます。

③ サーマルヘッド表面に付着した黒色状の紙粉等はアルコール系溶剤を使用して拭き取ります。またラベル紙を使用した場合は糊が付着するため糊を除去してください。



サーマルヘッド

カッターを清掃する

⚠ 注意

- ・ カッターの刃先は一般的なカッターナイフに比べて鋭利ではありませんが手や指を押付けて擦ると危険です。清掃される際には十分にご注意ください。
- ・ カッターナイフの取扱には十分注意してください。カッター（下）のエッジを傷付けないように注意してください。またプラテンローラーには傷・ヘコミを付けないでください。プラテンにヘコミがあると印刷抜け、改行不良の原因になります。
- ・ カッター清掃モード中はカッター（下）が飛び出した状態であるため十分に注意してください。また、清掃が完了しましたら用紙をセットしトップカバーを閉じてください。

ラベル紙を使用した場合は、カッターおよび用紙排出口に糊が付着するため、糊を拭き取ってください。



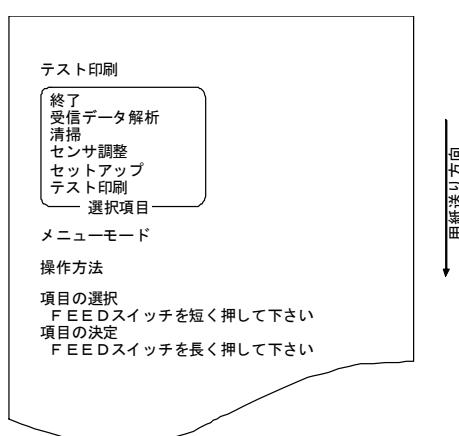
ラベル紙のカットが正常に行われても安定したカットを維持するために、1ヶ月に1度または5,000カットを目安にカッターを清掃してください。

清掃準備

- ・ カッターナイフ

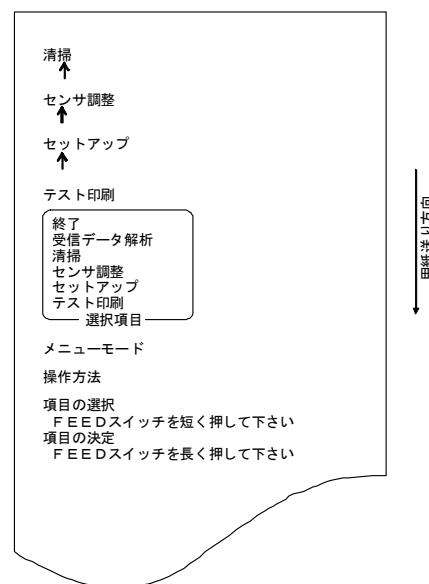
カッター（下）の清掃手順

① 電源スイッチをOFFにし、用紙をセットした状態で操作パネルのFEEDスイッチを押しながらプリンターの電源スイッチをONにすると以下の印刷を行います。



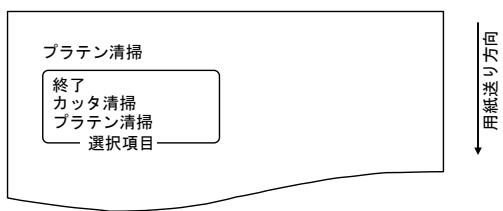
② 項目の選択で、「清掃」を選択します。

FEEDスイッチを短く3回押して、「清掃」の項目まで移動します。

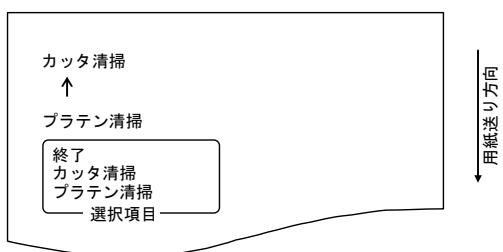


③ FEEDスイッチを長く1回押して決定します。

このとき、以下の印刷を行います。

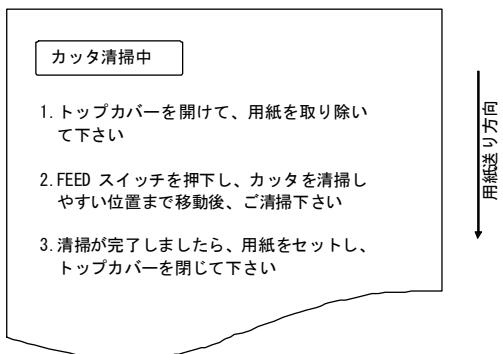


④ FEEDスイッチを短く1回押して、「カッタ清掃」の項目まで移動します。



⑤ FEEDスイッチを長く1回押して決定します。
カッター清掃モードとなります。

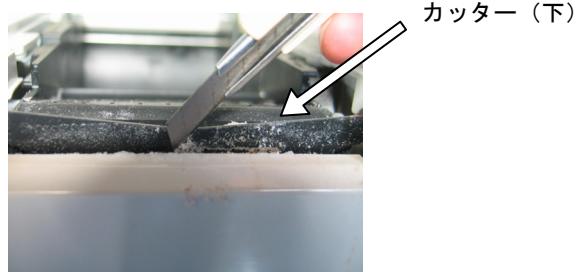
カッター清掃モードに入ると以下の印刷をして用紙をカットします。



⑥ トップカバーを開けて、用紙を取り除きます。

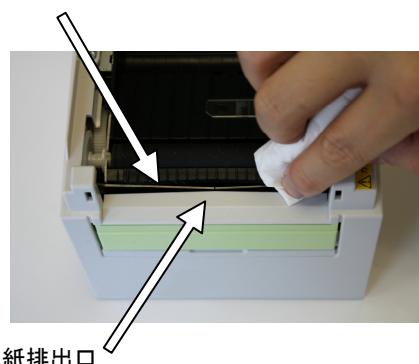
⑦ FEEDスイッチを押して、カッターを清掃しやすい位置まで移動させて、清掃します。

カッター（下）の内側面とエッジに堆積した粘着物をカッターナイフなどで取り除いてください。



⑧ カッター（下）と用紙排出口に残った粘着剤をやわらかい布などで拭き取ります。

カッター（下）



⑨ 清掃が完了しましたら、用紙をセットしトップカバーを閉じます。

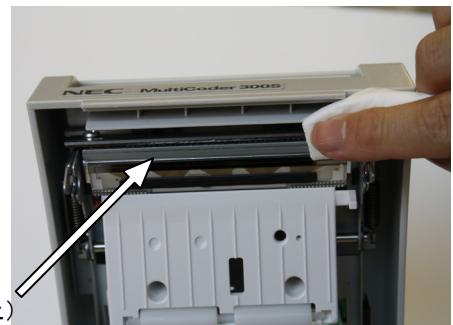
カッター（上）の清掃手順

- ① カッター（上）の表面とエッジに堆積した粘着物をカッターナイフなどで取り除いてください。



カッター（上）

- ② カッター（上）に残った粘着剤をやわらかい布などで拭き取ってください。



- ③ 清掃が完了しましたら、用紙をセットしトップカバーを閉じます。

5章 故障かな？と思ったときは

ここでは、プリンターにエラーが発生した場合の対処方法について説明します。

操作部の ERROR (エラー) ランプが点灯しているときは、この後の「エラー表示が出ているときは」(72 ページ) の表をご覧になりながら、処置してください。エラー表示が出ていないときは、「エラー表示が出ていないのにおかしいときは」(74 ページ) の表をご覧になりながら処置してください。

処置が終わりましたら、必要に応じて、1章の「7 テスト印刷をする」(33 ページ) に従ってプリンターが正しく動作することを確認してください。表に記載された処置を行ってもプリンターが回復しない場合は、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にご相談ください。

エラー表示が出ているときは

プリンターに何らかのエラーが発生して印刷できない状態になった場合は、主なエラーであればランプの表示からその原因を知ることができます。

本プリンターのエラー表示とその意味、および処置方法は次の表のとおりです。処置を行っても回復しない場合はプリンターの故障が考えられます。お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にご相談ください。

なお、リモートパネルでブザー設定を有効にしている場合はブザーが「ピッピッピッピー」と4回鳴ります。

復帰可能エラー発生時

エラー状態	ランプ	点滅パターン	処置
紙なし ペーパーエンド	POWER(◎)	点灯	用紙を補給してカバーを閉じます。
	ERROR (●)	点灯	
カバーオープン検出時	POWER(◎)	点灯	カバーを閉じます。
	ERROR (●)	点灯	
ヘッドホット※	POWER(◎)	点灯	温度が下がると自動的に印刷を再開します。
	ERROR (●)	点灯	

※サーマルヘッドの高温状態による印刷中断時

エラー状態	ランプ	点滅パターン	処置
ペーパーニアエンド	POWER(◎)	点灯	用紙を補給してカバーを閉じます。
	ERROR (●)	■■■■■■■■ 2秒程度、点灯・消灯の繰り返し	
用紙レイアウトエラー	POWER(◎)	点灯	用紙サイズを確認し、プリンタードライバーの用紙レイアウトを設定してください。印刷時に発生した場合は、トップカバーを開けてラベルのはがれや用紙詰まりなどが発生していないか確認した後に、用紙を再セットしてトップカバーを閉じてください。
	ERROR (●)	●—●—●—●— ●ランプ2回点滅の繰返し	

復帰不可能エラー発生時

エラー状態	ランプ	点滅パターン	処置
内部エラー	POWER(◎)	—○—○—	お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にご相談ください。
	ERROR (●)	●— ○ランプ2回点滅と●ランプ1回点滅の繰返し	
ヘッド未搭載	POWER(◎)	—○—○—○—	お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にご相談ください。
	ERROR (●)	●— ○ランプ3回点滅と●ランプ1回点滅の繰返し	
低電圧	POWER(◎)	—○—○—○—○—	お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にご相談ください。
	ERROR (●)	●— ○ランプ4回点滅と●ランプ1回点滅の繰返し	
過電圧	POWER(◎)	—○—○—○—○—○—	お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にご相談ください。
	ERROR (●)	●— ○ランプ5回点滅と●ランプ1回点滅の繰返し	

カッター異常	POWER(◎)	——◎—◎—◎—◎—◎—◎—	お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にご相談ください。
	ERROR (●)	●————	
L F モータ異常		◎ランプ 6 回点滅と ●ランプ 1 回点滅の繰返し	
	POWER(◎)	——◎—◎—◎—◎—◎—◎—	
	ERROR (●)	●————	
		◎ランプ 7 回点滅と ●ランプ 1 回点滅の繰返し	

エラー表示が出ていないのにおかしいときは

エラー表示が出ていないのに、プリンターが思うように動作しなかったり印刷の状態が良くなかったりしたときは、次の表でプリンターの症状に当てはまる項目を探し、確認作業を行ったうえでそれぞれの処置方法に従ってください。

電源投入時およびエラー関連

現象	原因	処置
電源を投入しても操作パネルのPOWERランプが点灯しないでプリンターも動作しない。	電源コードが外れている。	電源コードを接続します。 ※「電源コード・ACアダプターを接続する」(17ページ)を参照
	ACアダプターのコネクターが外れている。	ACアダプターのコネクターを接続する。 ※「電源コード・ACアダプターを接続する」(17ページ)を参照

カッター関連

現象	原因	処置
用紙が切れない。	カッターが傷ついている、または摩耗して寿命に達している。	電源をOFFにして、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にご相談ください。
	カッター周囲、スライド部周囲に用紙または異物が混入している。	用紙紙片、異物を取り除いてください。
	ラベル紙を使用していて、糊がカッターに付着している。	カッターを清掃して糊を拭き取ってください。 ※「カッターを清掃する」(68ページ)参照
カッターが所定の位置に戻らない。	カッター周囲、スライド部周囲に用紙または異物が混入している。	用紙紙片、異物を取り除いてください。

用紙搬送関連

現象	原因	処置
用紙が排出されない。	用紙排出口に糊が付着している。	用紙排出口を清掃し、糊を取り除いてください。

印刷関連

現象	原因	処置
印刷しない。	インターフェースケーブルが抜けている。	インターフェースケーブルを正しく接続してください。
	インターフェースケーブルが断線している。	インターフェースケーブルを交換してください。
	プリンターのセットアップの設定が間違っている。	正しく設定を行ってください。 例) ポーレートが合っていない ※メニュー mode の “シリアル通信条件” 参照 (51 ページ)
	ポートの設定が正しくない。	接続を確認し、プリンタードライバーの「ポートの設定」を正しく合わせてください。
印刷が濃い、にじむ。	プリンターのセットアップの印刷濃度設定が合っていない。	プリンターの印刷濃度、印刷速度を用紙に合った設定してください。 ※メニュー mode 参照 (51 ページ)
	サーマルヘッドが破損している。	電源を OFF にして、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にご相談ください。
印刷が薄い。	プリンターのセットアップの印刷濃度設定が合っていない。	プリンターの印刷濃度、印刷速度を用紙に合った設定してください。 ※メニュー mode 参照 (51 ページ)
	サーマルヘッドが破損している。	電源を OFF にして、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にご相談ください。
印刷にムラがある。	サーマルヘッドの発熱体に紙カス、異物が付着している。	サーマルヘッドを点検、清掃してください。 ※サーマルヘッド清掃参照 (67 ページ)
	プリンターのセットアップの設定が間違っている。	プリンターの印刷濃度、印刷速度を用紙に合った設定にしてください。 ※メニュー mode 参照 (51 ページ)
	プラテンローラーに異物が付着している。	プラテンローラーの異物を取り除いてください。 ※プラテンローラーの清掃参照 (66 ページ)
	サーマルヘッドが破損している。	電源を OFF にして、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にご相談ください。
印刷に縦スジに入る。	用紙搬送部に異物が付着、混入している。	用紙搬送路を清掃してください。 ※用紙収納部、用紙走行部清掃参照 (65 ページ)
	サーマルヘッドに異物が付着している。	サーマルヘッドを清掃してください。 ※サーマルヘッド清掃参照 (67 ページ)
	サーマルヘッドが破損している。	電源を OFF にして、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にご相談ください。

用紙がつまつたとき

本プリンターの内部で用紙がつまつたときは、次の手順に従って取り除いてください。

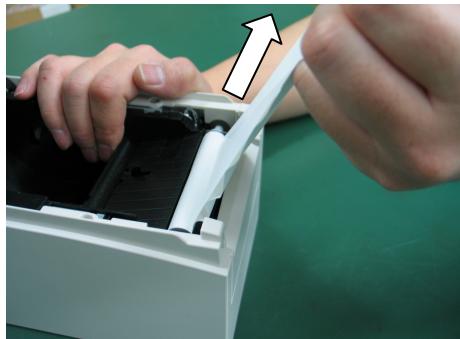
紙詰まりの除去方法

⚠ 注意

- 用紙を取り除く際は、用紙を無理に引っ張ったりしないでください。
- トップカバーは後方へ倒すように全開にしてください。中途半端な状態にしておくと不意に下がり、けがの原因となるおそれがあります。
- 装置内部の突起部に手などをぶつけないように注意してください。けがの原因となるおそれがあります。
- カッターのエッジは、カッターナイフの刃とは違い鋭利ではありませんが、直接指を押しつけて引くと危険です。

紙詰まりが発生した場合には、以下の手順で用紙を除去してください。

- ① プリンターの電源を OFF にしてください。
- ② カバーオープンレバーを上方に押し上げトップカバーを開けます。
- ③ プリンターを押さえ下図の様に詰まった用紙をゆっくり上方に向かって引っ張り取り除きます。



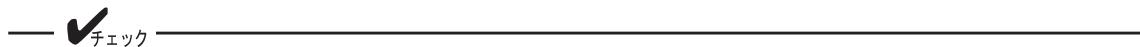
- ■ ■ 重要 ■ ■ ■
- サーマルヘッドやプラテンを鋭利なもので傷つけないでください。印刷不良や故障の原因になります。
 - サーマルヘッドの発熱部に直接手を触れないでください。静電気により、サーマルヘッドが破損するおそれがあります。

保証および修理の依頼について

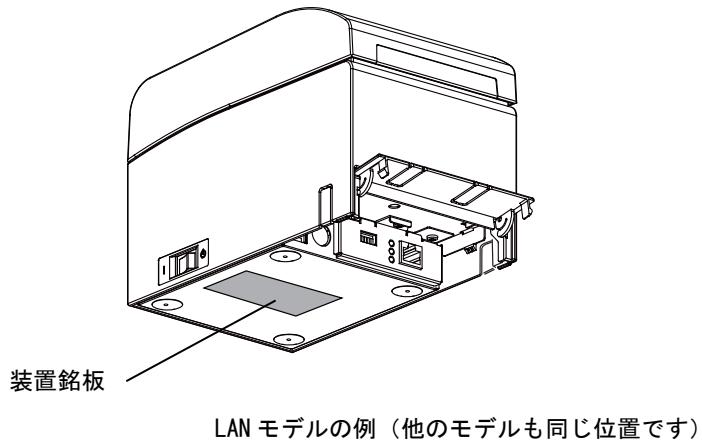
保証について

本製品には『保証書』が付いています。『保証書』は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容を確認して大切に保管してください。保証期間中に万一故障が発生した場合は、『保証書』の記載内容に基づき、無料修理いたします。詳細については『保証書』をご覧ください。

保証期間後の保守サービスについては、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にご相談ください。



本体の底面に、製品の型番、SERIAL NO.（製造番号）、定格、製造業者名、製造国が明記された装置銘板が貼ってあります。販売店にお問い合わせする際にこの内容をお伝えください。また装置銘版の製造番号と保証書の保証番号が一致していないと、万一、プリンターが保証期間に故障した場合でも、保証を受けられないことがあります。お問い合わせの際にご相談ください。



修理に出される前に

「故障かな？」と思ったら、修理に出される前に以下の手順を行ってください。

- ① 電源プラグ、電源コードおよびインターフェースケーブルなどが正しく接続されていることを確認します。
- ② 用紙の取り付けが確実に行われていることを確認します。
- ③ 「エラー表示が出ているときは」(72 ページ)、「エラー表示が出ていないのにおかしいときは」(74 ページ) を参考し、該当する症状があれば記載されている処置を行います。

以上の処理を行っても、なお異常があるときは、無理な操作をせず、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にご連絡ください。なお、保証期間中の修理は『保証書』を添えてお申し出ください。



- 問い合わせをする際、ランプの状態（点灯または点滅）をご確認ください。
故障時のランプの表示は修理の際の有用な情報となることがあります。
 - プリンターをお持ち込みいただくときは「プリンターを運搬するときは」(80 ページ) の手順に従ってプリンターを梱包してください。
-

プリンターの寿命について

本プリンターの製品寿命は使用年数 5 年です。その後も継続して使用される場合は、必ずお買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にご相談ください（損耗状態によっては継続して使用できない場合があります）。

補修用部品について

本プリンターの補修用部品の保有期間は製造打ち切り後 5 年です。

有償交換部品について

本プリンターの機能・性能を維持するために、交換を必要とする部品があり、これを「有償交換部品」と呼びます。有償交換部品の推奨交換周期（交換の目安）は印刷／カット回数によって設定されています。

本プリンターの有償交換部品とその推奨交換周期は次の通りです。

部品名	推奨交換周期（交換の目安）	備 考
サーマルヘッド	単色：150km 2色：75km	全モデル共通
カッターユニットセット (J2L)	500,000 回	MultiCoder 300S2DXUR MultiCoder 300S2DXL
カッターユニットセット (J2L) パラレル		MultiCoder 300S2DXP

※推奨交換周期は当社評価による目安であり、保証値ではありません。お客様のご使用状況により大きく異なる場合があります。

注1 お客様ご自身での交換はできません。

注2 有償交換部品の交換は定期保守契約締結時でも有償となります。

注3 補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後5年となります。

注4 保守については、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にご相談ください。

マニュアルの再入手方法について



ユーザーズマニュアルは NEC コーポレートサイト (<http://jpn.nec.com/>) より、PDF 形式 (Adobe Reader または Acrobat Reader (Ver. 5 以降) を推奨) の電子データを閲覧、ダウンロードすることができます。

品名：MultiCoder 300S2DX シリーズ ラベルプリンター ユーザーズマニュアル

なお、マニュアルの紛失に備えて、品名をメモしておくようにしてください。

情報サービスについて

NEC 製品に関する最新情報を下記で提供しています。

インターネットの Web ページ

NEC コーポレートサイト (<http://jpn.nec.com/>)

プリンターを運搬するときは

本プリンターを引っ越しや修理などで移動するときは、次の手順に従って付属品などを取り外し、梱包してください。

- ① プリンターの電源スイッチを OFF にします。
- ② 電源コードのプラグをコンセントから抜きます。
- ③ AC アダプターの電源コネクターを抜きます。
- ④ プリンターにインターフェースケーブルを接続している場合は、ケーブルを取り外します。
- ⑤ 用紙を取り出します。

- ⑥ スタッカーを取り付けている場合は取り外します。

- ⑦ 梱包します。

梱包材を取り付けてプリンターおよび付属品を箱に入れます。

これでプリンターを運搬する準備ができました。

プリンターの廃棄について

プリンターおよびオプションの廃棄については、各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせ願います。

また、NEC でも法人のお客様に販売したプリンターを対象として、NEC グループの物流ネットワークを効率的に活用し、使用済みとなったプリンターを有償でお客様から回収して再資源化拠点で処理しております。

詳しくは、<http://jpn.nec.com/eco/ja/>をご覧ください。

— ✓ チェック —

プリンターの廃棄の際は、他の装置への転用を防ぐために、プリンターに添付されていた電源コードも一緒に廃棄してください。

規格に合っていない装置に使用すると、感電や火災の原因となることがあります。

付録

技術情報

仕様

項目		
外観色	本体	ミストホワイト
	ペーパーガイド	ライトグリーン
印刷方式		感熱方式（直接発色）
印刷ヘッド密度		8 ドット/mm (0.125mm/ドット)
印刷解像度		203dpi (8 ドット/mm)
発熱体ピッチ		0.125mm
ドット総数		640
印刷速度	紙幅 83~58mm 時	<単色> 紙厚 150 μm 最大 260mm/s 紙厚 75 μm 最大 260mm/s 紙厚 60 μm 最大 220mm/s <2 色> 最大 115mm/s
	紙幅 57~38mm 時	<単色> 紙厚 150 μm 最大 160mm/s 紙厚 60~75 μm 最大 140mm/s <2 色> 最大 115mm/s
	紙幅 37~25.4mm 時	<単色/2 色> 最大 80mm/s
フィード方向		順方向または逆方向
バックフィード速度		82mm/s
カラー印刷		単色（黒）、2 色
紙送り最小ピッチ		0.125mm/step
給紙 方式	装置内セット	ロール紙外巻き
	装置外セット	ファンフォールド紙
排紙方式		装置前面排紙のみ。カットしながらの印刷・排紙が可能。
印刷可能範囲／用紙サイズ		2 章参照
カッタ一切断形態		フルカット
ハードウェア インターフェース	USB	USB 1.1/2.0 Full Speed 準拠 USB インターフェース 通信速度：12Mbps、コネクター：USB B タイプ
	LAN	LAN IEEE802.3 準拠 Ethernet インターフェース 10Base-T/100Base-TX
	パラレル	パラレルインターフェース IEEE1284 準拠ニブルモード対応
	RS-232C	RS-232C インターフェース
受信バッファ		4KB
ブザー		あり（設定により消音可能）
電源		AC100V±10% 50/60Hz 共用
消費電力	動作時最大	80W (1.4A)
	待機時	5W (0.2A)

(つづき)

項目		
動作環境	温度	5~38°C
	湿度	25~85% (ただし、結露しないこと)
保存環境	温度	-25~60°C
	湿度	0~90% (ただし、結露しないこと)
外形寸法 (突起部除く)	128 (W) × 207 (D) × 145 (H) mm	
質量	本体のみ	約 1.9kg
信頼性	装置本体	MTBF: 7800H MCBF: 7000 万行 (指定紙)
	ヘッド	ヘッド寿命 : 150km (単色) 75km (2色)
	カッター	(フルカット) 用紙厚 75 μm : 200 万カット 用紙厚 75~150 μm : 50 万カット タグ紙 : 50 万カット 100 万カット※ ラベル台紙部 : 100 万カット ※カッターの清掃時
製品寿命	5年または 2500 万行 (93.75km)	
内蔵バーコード	JAN/EAN 8/13、UPC-A/E、Codabar (NW-7)、ITF 14/16/6、 Code39、Code93、Code128、GS1-128 (UCC/EAN-128)、GS1-Databar (RSS)	
内蔵2次元コード	DataMatrix、MaxiCode、PDF417、QR Code (モデル1、モデル2)	
添付ソフトウェア	プリンタードライバー、リモートパネル、ステータスマニター、プリンタードライバー括設定ツール	
添付品	電源コード、AC アダプター、テスト用紙 (感熱ロール紙)、プリンターソフトウェア CD-ROM、クイックスタートガイド、安全にお使いいただくために、保証書、ソフトウェアのご使用条件、スタッカー <LAN モデルのみ> プリントサーバーソフトウェア CD-ROM	

カッター使用時の注意

⚠ 注意

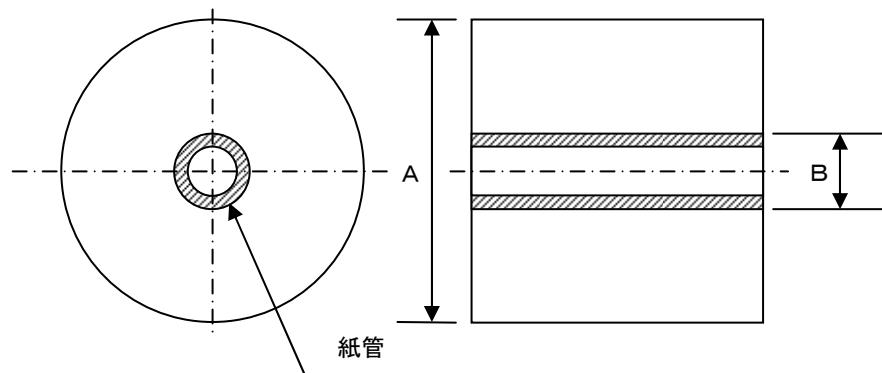
- ラベル紙を使用する場合は、糊の影響で早期に用紙切断能力が低下することがあります。定期的にカッターの清掃を行って糊を除去して使用してください。(「カッターを清掃する」(68 ページ) を参照してください)
- 印刷後、約 30 枚毎に用紙を取り除いてください。
用紙を取り除かないと印刷済みの用紙がカッターパーに残りカット不良の原因となります。
- 連続カッターの稼働は、30 回／分以下 (1 回／2 秒以上) にて使用してください。それ以上で使用すると故障の原因となります。
- 印刷中に用紙出口付近に手を出さないでください。
用紙に当たると紙詰まりを起こしたり、用紙をカットできないなどのエラーの原因になります。
- ラベルをカットする場合は、ラベルとラベルの間の台紙部分をカットしてください。

ロール紙供給仕様

- (1) 供給方式：マニュアルセット方式
- (2) ペーパーニアエンド：用紙が残り少なくなると検出します。

検出できる用紙残量は以下の通りです。

紙厚 (μm)	紙管外径 $< B >$ $\phi 32$ のロール紙を使用した場合	
	検知径 $< A >$ (mm)	用紙残量 (m)
75~150	約 $\phi 40$	0.5~5.0



⚠ 注意

- 上記寸法（検知径、用紙残量）については、計算上の値であるため、用紙の巻き状態及び紙厚により、ばらつきがあります。
- 紙管 $\phi 32\text{mm}$ 以外のロール紙を使用した場合は、ペーパーニアエンドの検出精度が低下します。
- 紙管外径 $\phi 32\text{mm}$ 未満のロール紙を使用した場合は、紙管近傍の紙をフルカットすると搬送不良が発生する場合があります。

インターフェース(コネクターピン配置)

USB インターフェース

Type-B コネクタ : 4 ピン

ピン番号	信号名	方向	信号線名
1	VBUS	入力	+5V
2	D-inB	入出力	D-
3	D+inB	入出力	D+
4	SG1	-	グラウンド

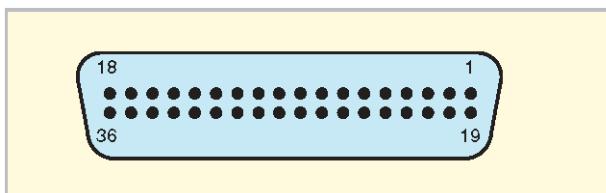
LAN インターフェース

LAN インターフェースコネクター

ピン番号	信号名	方向	信号線名
1	TX+	出力	出力データ
2	TX-	出力	出力データ
3	RX+	入力	入力データ
4	N. C	-	-
5	N. C	-	-
6	RX-	入力	入力データ
7	N. C	-	-
8	N. C	-	-

パラレルインターフェース

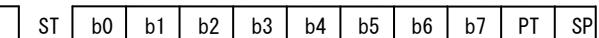
互換モード



Pin No.	信号名	
	互換モード	ニブルモード
1	nStrobe	HostClk
2	Data1	Data1
3	Data2	Data2
4	Data3	Data3
5	Data4	Data4
6	Data5	Data5
7	Data6	Data6
8	Data7	Data7
9	Data8	Data8
10	nAck	PtrClk
11	Busy	PtrBusy
12	Perror	AckDataReq
13	Select	Xflag
14	nAutoFd	HostBusy
15	NC	NC
16	LOGIC GND	LOGIC GND
17	CHASSIS GND	CHASSIS GND
18	DCN	DCN
19	TWISTED PAIR GND (PIN1)	TWISTED PAIR GND (PIN1)
20	TWISTED PAIR GND (PIN2)	TWISTED PAIR GND (PIN2)
21	TWISTED PAIR GND (PIN3)	TWISTED PAIR GND (PIN3)
22	TWISTED PAIR GND (PIN4)	TWISTED PAIR GND (PIN4)
23	TWISTED PAIR GND (PIN5)	TWISTED PAIR GND (PIN5)
24	TWISTED PAIR GND (PIN6)	TWISTED PAIR GND (PIN6)
25	TWISTED PAIR GND (PIN7)	TWISTED PAIR GND (PIN7)
26	TWISTED PAIR GND (PIN8)	TWISTED PAIR GND (PIN8)
27	TWISTED PAIR GND (PIN9)	TWISTED PAIR GND (PIN9)
28	TWISTED PAIR GND (PIN10)	TWISTED PAIR GND (PIN10)
29	TWISTED PAIR GND (PIN11)	TWISTED PAIR GND (PIN11)
30	TWISTED PAIR GND (PIN31)	TWISTED PAIR GND (PIN31)
31	nInit	nInit
32	nFault	nDataAvail
33	GND	GND
34	NC	NC
35	NC	NC
36	nSelectIn	IEEE1284Active

RS-232C インターフェース

(1) 伝達インターフェース仕様

動機方式	非同期方式
回線形態	全二重
入出力回路	入力 : MAX211相当 出力 : MAX211相当
ボーレート	2400, 4800, 9600, 19200, 38400, 57600, 115200BPS
传送符号単位	7 単位 又は 8 単位
传送符号形式	スタートビット長 : 1 ビット ストップビット長 : 1 ビット データビット長 : 7 or 8 単位 パリティビット長 : NONE, ODD, EVEN マーク (1)  スペース (0)
传送順序	LSB 先出し方式
传送コード系	JIS コード
誤り制御	パリティチェック
接続線長	最大 15m : (電源コネクターから電源を供給する場合) 最大 2m : (インターフェースコネクターから電源を供給する場合)
プロトコル	DSR/DTR, XON/XOFF

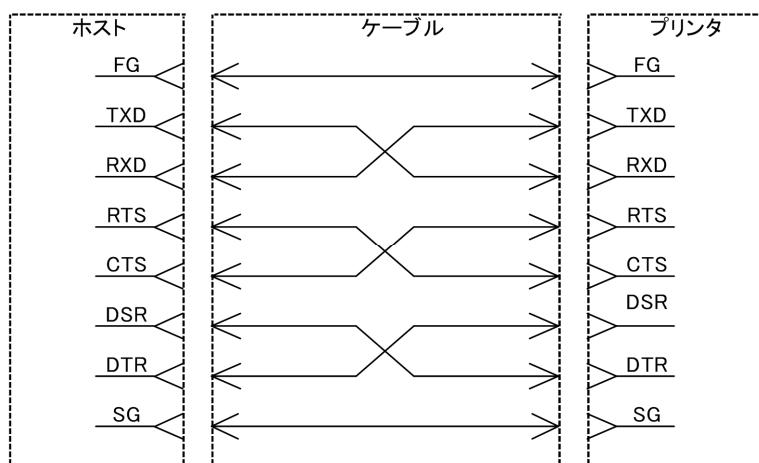
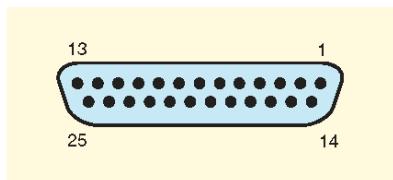
(2) RS-232C インターフェースコネクター

ピン番号	信号名	方向	信号線名
1	FG	-	フレームグランド
2	TXD	出力	送信データ
3	RXD	入力	受信データ
4	RTS	出力	送信要求
5	CTS	入力	送信許可
6	DSR	入力	データセットレディ
7	SG	-	シグナルグランド
8~12	N. C	-	未使用
13	SG2	入力	+24V 用グランド
14	SG2	入力	+24V 用グランド
15~17	N. C	-	未使用
18	+24V	入力	メカ駆動用電源
19	+24V	入力	メカ駆動用電源
20	DTR	出力	データ端末レディ
21~24	N. C	-	未使用
25	INIT	入力	強制リセット信号

— ✓ チェック —

- 電源コネクターから電源を供給する場合は [] 部のピンは未接続としてください。また、RS-232C インターフェースコネクターと電源コネクターの両方同時供給は禁止します。
- コネクターのロックネジはインチネジを使用してください。

コネクターピン接続図



索引

アルファベット

AC アダプター	9
～を接続する	17
LAN ケーブル	37
RS-232C ケーブル	10, 35
USB ケーブル	10, 36

ア

安全上のご注意	2
安全にご使用していただくために	1
一般感熱紙	11
印刷可能範囲	42
印刷機構部	15
運搬	80
エラー表示	72, 74
オプション	10

力

外観	12
紙詰まり	76
技術情報	81
黒マーク紙	43
警告ラベル	1
故障かな?と思ったときは	71

ナ

修理	77
情報サービス	79
消耗品	10
スイッチ	50
スタッカー	32

清掃	65
カッター	68
サーマルヘッド	67
プラテンローラー	66
用紙収納部	65

接続

AC アダプター	17
LAN ケーブル	37
RS-232C ケーブル	35
USB ケーブル	36
パラレルケーブル	38
設置場所	7
全面ラベル紙	45
ソフトウェア CD-ROM	9
初期化	57

タ

タグ紙	42
長期保存感熱紙	11
テスト印刷	33
電源コード	9
～を接続する	17
電源スイッチ	21
電源の ON/OFF	21
特長	viii

ナ

日常の保守	64
ネットワーク	39

ハ

廃棄	80
パラレルケーブル	10, 38
ファンフォールド紙	29
プリンターケーブル	10
ペーパーガイド	23
別売品	10
補修用部品	78
保証	77

マ

マニュアルの再入手方法	79
メニューツリー	59
メニュー モード	51
2色時の黒濃度	62
ACK パルス幅	62
BM センサ	63
BUSY 条件	61
DSR (#6) リセット	62
HEX ダンプ	63
INIT (#25) リセット	62
INIT (#31) リセット	62
PE センサ	63
PNE 検出	62
PNE センサ	63
頭出し時のカット	61
印刷 MODE (COM IF)	63
印刷 MODE (OTHER IF)	63
印刷色	62
印刷速度	62
印刷濃度	62
カッタ清掃	63
カバーオープン	62
基準位置補正	61
グラフィックメモリ	62
コマンドトレース	63
自動改行	61
受信エラー処理	61
受信バッファ	61
初期化	61
シリアル番号	62
センサ自動調整	61
調整値印刷	63
低消費電力	62

手切り位置補正	61
テスト印刷	61
電源 ON 通知	61
電源投入後の頭出し	61
フォーマット	62
フォント B	62
ブザー	63
プラテン清掃	63
プロセス ID	62
プロトコル	62
ボーレート	62
ユーザー NV メモリ	62
用紙レイアウトエラー復帰	61
ラベルセンサ	63
ロール紙ユニット	63
ロール紙ユニット PE 検出	63

ヤ

用紙	11, 40
～が詰まったとき	76
～をセットする	22
用紙一覧	11
用紙ガイド	31
用紙の交換	47
用紙レイアウトエラー	48

ラ

ラベル紙	44
ランプ	50
ロール紙	26

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品です。
JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性-第3-2部：限度値-高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

電波障害自主規制について

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

V C C I - A

電源の瞬時電圧低下対策について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。

（社団法人電子情報技術産業協会（社団法人日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

海外でのご使用について

本装置は、日本国内仕様のため海外でご使用になる場合、NEC の海外拠点で修理することはできません。また、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格などの適用認定を受けておりません。したがって、本装置を輸出した場合に当該国での輸入通関、および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生するこがあつても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

電気通信事業法について

LAN インタフェースでネットワークへ接続される場合、電気通信事業法で定められた電気通信業者の通信設備（ADSL モデムや CATV など）へ直接接続することは許可されていません。